rin project 2022 Catalog

りんぷろじぇくと

令和四年 輪計画 黒猫

rn project

香川県小豆郡土庄町

鏝絵（こてえ）

本カタログの表紙は左官職人がコテを使い漆喰で表現した、立体的な装飾「鏝絵（こてえ）」をモチーフにしました。

招福や花鳥風月が主な題材となり、江戸中期から日本全国で盛んに作られたそうです。

message

日々の通勤も、週末のお出かけも、夏休みの旅行も。エクササイズにも、レースにも。日常の足としても、レクレーションにも、スポーツ競技にも。「自転車」は老若男女を問わず、いろいろなことに使える乗り物です。

自転車は、徒歩よりもはるかに早く移動できるにもかかわらず、人の力で動く地上で最も移動コストの少ない乗り物と考えられています。

乗りなれた方なら一日で100km以上移動できますし、船や電車や飛行機など他の交通機関に持ち込むことで、より長い距離を移動することもできます。

満員電車を避けるためにも、災害で電気や燃料が使えなくても、自転車は心強い味方になるのです。

たくさんの可能性が詰まった自転車は、日常から旅まであなたに寄り添ってくれる乗り物です。

リンプロジェクトは、そんな自転車を生活に取り入れたあなたのために、自転車に乗るときも乗らないときも使えるアイテムを作り続けています。

JR 四国予土線

2022年4月27日　初版発行

※このカタログ掲載商品のカラーは印刷の都合により実物と異なる場合があります。　また、予告無く仕様を変更することがございます。
※各商品のQRコードは入荷次第ご利用頂けます。新製品の場合はリンク切れの場合もございますので予めご了承ください。

Casque & cap カスク& キャップ

かつて、自転車レースで頭を保護するために使われていたカスク。ハードシェルのヘルメットが登場してから姿を消したカスクを、リンプロジェクトは東京・下町の職人と一緒に現代に蘇らせました。

小さく畳むとかさばらないため、輪行中の折り畳み自転車との相性が良く、観光しながら、気ままに走るサイクリング等で活躍することでしょう。また、ヴィンテージ自転車愛好家にも当時を再現するアイテムとして人気です。

もちろん、カスクだけを使用するのではなく、集団で高速走行する時はより安全性の高いハードシェルのヘルメットを。少人数で、輪行しながらの観光サイクリングはカスクと使い分けることで、自転車の楽しみ方が広がることでしょう。

No.4002 Casque (Leather)

カスク（レザー）

Price (in tax) ¥ 15,400（税込み） Made in Japan

● Impact-absorbing material / 衝撃吸収材入り ● Tail reflector / テールリフレクター ● Leather / 牛革 ● Compact / コンパクト

Camel | Moss green | Wine red | Brown | Black | Gray

	Head Round 頭周り
M	59cm
L	61cm

Material : Leather（牛革） Impact-absorbing material（衝撃吸収材）

Camel（キャメル）

Moss green（モスグリーン）

Wine red（ワインレッド）

Brown（ブラウン）

Packed

Reflector print

Made in Tokyo

Black（ブラック）

Gray（グレー）

No.4009 Visor (leather)

バイザー（レザー）

Price (in tax) ¥ 3,080 （税込み） Made in Japan

● Casque attachable / カスクに取り付け ● Sun & rain visor / サン&レインバイザー ● Leather / 牛革

Black　Brown

Black（ブラック）

Brown（ブラウン）

No.4014 Casqe strap

カスク交換用ストラップ

Price (in tax) ¥ 1,100 （税込み） Made in Japan

● Casque attachable / カスクに取り付け

Black　Brown　Khaki

Material：Polypropylene（ポリプロピレン）

Black（ブラック）

Brown（ブラウン）

Khaki（カーキ）

No.4538 KETTA Cap SHELTECH

KETTA 帽（シェルテック）

Price (in tax) ¥ 5,500（税込み） Made in Japan

● Casual cap for cyclists / サイクリストのためのカジュアルキャップ ● Adjustable strap / 調整可能なストラップ ● Heat Barrier / 遮熱 ● Contact cold sensation / 接触冷感 ● Quick dry / 速乾 ● UPF50+ / UV カット

Gray | Black | Khaki | Beige

	Head Round 頭周り
M	55 ～ 59cm
L	58 ～ 62cm

Material： Cotton（綿）58%, Nylon（ナイロン）42%

SHELTECH

吸汗速乾・遮熱
UV カット・接触冷感

Back

Gray（グレー）

Black（ブラック）

Khaki（カーキ）

Beige（ベージュ）

No.4541 New 4月入荷

KETTA Cap mesh

KETTA 帽 メッシュ

Price (in tax) ¥6,600（税込み） Made in Japan

Gray | Black | Beige

Gray（グレー）

Black（ブラック）

Beige（ベージュ）

アメリカン
アジャスター仕様

No.4542 New 6月入荷予定

KETTA Jet cap

KETTA ジェットキャップ

No.4503 Cycle cap

サイクルキャップ

Price (in tax) ¥ 4,180 （税込み） Made in Japan

● Simple design / シンプルデザイン ● Tail reflector / テールリフレクター ● Cotton / 綿

Black

Gray

Indigo

	Head Round 頭周り
M	56 ～ 59cm
L	58 ～ 61cm

Material : Cotton（綿）100%

Gray（グレー）

Back

Black（ブラック）

Indigo（インディゴ）

No.4520 Print cycle cap

プリントサイクルキャップ

New
2022年3月より順次入荷

Price (in tax) ¥ 4,180 (税込み) Made in Japan

● Various print patterns / 様々な種類のプリント ● Tail reflector / テールリフレクター ● Cotton / 綿 ● 新柄も続々登場。詳しくはWebで→

● Shibori zome（絞り染め）
● Maekake（前掛け）
● Tai（鯛）
● Onyanko（おにゃんこ）
● Hiyashi tomato（冷やしトマト）
● Tomato curry（トマトカレー）
● Corn（コーン）
● Paprika（パプリカ）
● Suika（スイカ）

	Head Round 頭周り
M	56 ～ 59cm
L	58 ～ 61cm

Material : Cotton（綿）100%

Shibori zome（絞り染め）

Maekake（前掛け）

Tai（鯛）

Onyanko（おにゃんこ）

Hiyashi tomato（冷やしトマト）

Tomato curry（トマトカレー）

Corn（コーン）

Paprika（パプリカ）

Suika（スイカ）

No.4536 Beagle cap

ビーグルキャップ

Price (in tax) ¥ 3,960 （税込み） Made in Japan

● Seam free construction of WHOLEGARMENT®. Ideal for Helmet Inner Cap / ホールガーメントによる立体編みたて。縫目による凹凸が無く、インナーキャップに最適

Black

Gray

	Head Round 頭周り
FREE	52 ～ 60cm

Material： Acrylic（アクリル）70%, Wool（羊毛）30%

Black（ブラック）

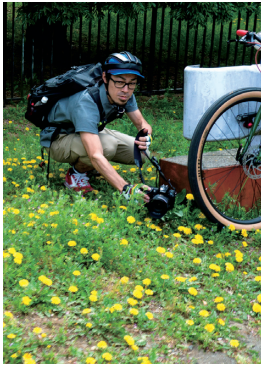
Gray（グレー）

縫い目のない立体編み立て

Side

花と自転車

道中いろいろなものに出会えるスピードが自転車の魅力。行く先々で出会った花が、旅に色どりを添えてくれます。



Short pants

ショートパンツ

１９９０年代から２０００年にかけて、自転車に乗りやすいパンツと言えばレーサーパンツのみでした。アスリート向けの機能的な形はトレーニングやレースで最高のパフォーマンスを出すために必要ですが、日常生活や旅先の風景からは浮いてしまいがち。そこで、リンプロジェクトはカジュアルウェアのデザインと素材を取り入れた、自転車との日常を送ることができるサイクルパンツを開発。

最も人気の高い７分丈パンツは風の影響を受けにくい細身のシルエット。物を入れるとペダリングに影響する尻ポケットはあえて省略。前が低く後ろが高い特殊なウエスト形状により、前傾姿勢が楽にとれ、１日１００ｋｍの旅にも対応します。暑い時期はそのままで、寒い時期はタイツやレギンスと組み合わせ一年中履ける汎用性の高さも魅力です。

No.3015 Stretch cycle short pants

ストレッチサイクルショートパンツ

Price (in tax) ¥ 13,200（税込み） Made in Japan

● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Three quarters length / 七分丈 ● Saddle patch / サドルパッチ ● Ventilation hole / 空気口 ● Easy access side pocket / イージーアクセスサイドポケット

Black **Khaki** **Beige** **Gray**

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
XS	76cm	45cm	64cm	39cm
S	80cm	45cm	64cm	39cm
M	84cm	47cm	66cm	40cm
L	88cm	47cm	68cm	43cm
XL	92cm	47cm	70cm	44cm
XXL	98cm	47cm	74cm	48cm

Material : Cotton（綿） 95% Polyurethane（ポリウレタン）5%

XSサイズは、女性向けのシルエット。後ろの空気穴を省略。

XS size is women's pattern. Without ventilation hole.

Black（ブラック）

Khaki（カーキ）

Back

Beige（ベージュ）

Gray（グレー）

No.3166 Urban athletic pants

アーバンアスレチックパンツ

Price (in tax) ¥ 14,300 （税込み） Made in Japan

● Excellent stretch, quick-drying and anti-wrinkle properties fabric / 優れたストレッチ性、速乾性とシワ防止 ● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Three quarters length / 七分丈 ● Saddle patch / サドルパッチ ● Easy access side pocket / イージーアクセスサイドポケット

Khaki（カーキ）

Black（ブラック）

Navy（ネイビー）

Back

優れたストレッチ性と
形状安定性

Khaki **Black** **Navy**

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
S	78 ～ 82cm	46cm	66cm	40cm
M	82 ～ 86cm	47cm	68cm	41cm
L	86 ～ 90cm	48cm	70cm	42cm
XL	92 ～ 96cm	48cm	74cm	44cm

Material ： Polyester（ポリエステル） 65%　SOLOTEX conjugated fiber（SOLOTEX 複合素材）35%

No.3171 Furyu short pants

Furyu ショート パンツ

Price (in tax) ¥ 13,200 （税込み） Made in Japan

● Highly breathable and quick dry / 高い通気性と速乾性 ● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Three quarters length / 七分丈 ● Saddle patch / サドルパッチ ● Easy access side pocket / イージーアクセスサイドポケット

Beige（ベージュ）

Gray（グレー）

Navy（ネイビー）

Back

天然素材風の質感
優れた通気性と速乾性

Beige **Gray** **Navy**

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
XS	76cm	46cm	61cm	38cm
S	80cm	46cm	65cm	39cm
M	84cm	48cm	67cm	40cm
L	88cm	48cm	68cm	41cm
XL	92cm	49cm	71cm	42cm

Material ： Polyester（ポリエステル）100%

No.3175 Knickerbockers

ニッカボッカーズ

Price (in tax) ¥ 15,400 （税込み） Made in Japan

● Classical Style / クラシックスタイル ● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Three quarters length / 七分丈 ● Saddle patch / サドルパッチ ● Hem straps with buckles / バックル付き裾ストラップ

Khaki **Beige**

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
S	80cm	48cm	66cm	30 ～ 40cm
M	84cm	51cm	69cm	31 ～ 41cm
L	88cm	53cm	72cm	32 ～ 42cm
XL	92cm	55cm	76cm	33 ～ 43cm

Material : Cotton（綿） 95%　Polyurethane（ポリウレタン）5%

Khaki（カーキ）

Beige（ベージュ）

Back

Back

バックル付きの裾ストラップ

サドルパッチで補強

No.3033 Suteteko short pants

ステテコ ショート パンツ

Price (in tax) ¥ 10,450 （税込み） Made in Japan

● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Three quarters length / 七分丈 ● Saddle patch / サドルパッチ ● Easy access side pocket / イージーアクセスサイドポケット ● Japanese Yoryu Cotton fubric / 楊柳（ようりゅう）

Black **Navy**

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
S	76 ～ 80cm	47cm	68cm	39cm
M	80 ～ 84cm	49cm	69cm	40cm
L	84 ～ 88cm	51cm	70cm	41cm
XL	88 ～ 92cm	51cm	71cm	42cm

Material : Cotton（綿）

使用上の注意 / Caution;
※アイロンの使用は控えてください。 / Do not iron press.
※過酷な使用はお控えください。 / Non-extreme usage recommend.
※お手入れは、製品に付属する品質表示に従ってください。 / Follow the washing instructions on products.

Black（ブラック）

Navy（ネイビー）

Attachment（付属品）：Sac（収納袋）

楊柳

楊柳（ようりゅう）とは、独特の「しぼ（しわ）」を持つ、綿100％の生地です。強撚糸を織ることにより、このしぼが現れ、軽くさらりとした肌触りとなります。特に横方向への伸び率が大きく、乗車時の動きを妨げることはありません。強く引っ張ると伸びますが、洗うことで縮みます。部屋着から夏場のサイクリングまで、幅広くご利用いただける、軽く涼しい素材です。

Yoryu is a cotton 100% Japanese traditional fabric with original fine wrinkle, or crepe. Weaving hard twist yarn with in cotton, this fine wrinkle appears, which makes light/soft feeling. Stretches well especially on sideway, and will stretch as rider moves. If pulled strong, will make it slack, but will shrink with washing. From room wear to summer cycling, Yoryu is multi usage light and cool fabric.

Back

Back

No.3190 Stretch cycle half pants

ストレッチサイクルハーフパンツ

Price (in tax) ¥ 12,100 （税込み） Made in Japan

● Durable chino cloth / 耐久性に優れたチノ素材 ● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Half length / 5分丈
● Saddle patch / サドルパッチ ● Easy access side pocket / イージーアクセスサイドポケット ● Smartphone pocket / スマートフォンポケット

New 6月入荷予定

Gray　Khaki　Beige

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
S	80cm	24cm	62cm	48cm
M	84cm	25cm	64cm	50cm
L	88cm	26cm	66cm	52cm
XL	92cm	27cm	68cm	54cm

Material : Cotton（綿） 98%　Polyurethane（ポリウレタン）2%

Gray（グレー）

Khaki（カーキ）

Beige（ベージュ）

Back

Long pants ロングパンツ

リンプロジェクトのフルレングスパンツシリーズは、自転車通勤の方や、ロングパンツ派の方にお勧めです。動きやすいストレッチ素材を使用し、楽に前傾姿勢を取れる形状を備えており、そのデザインと動きやすさは自転車だけでなく、長い丈が小枝や葉から肌を守るため、登山やハイキングなどのアウトドアにもご利用頂けます。もちろん旅行用としても、普段着としても活躍するため、一度使うと手放せなくなるかもしれません。

モデルによっては裾止めバンドを内蔵していたり、デニム素材でエイジング（色落ち）が楽しめるもの、毛布のような暖かい保温素材を採用しているもの、クラシックなニッカボッカーズタイプなど、カタログ掲載以外にも様々なバリエーションがラインナップされます。ぜひウェブで最新モデルをご確認ください。

No.3001 Stretch cycle Long pants

ストレッチサイクルロングパンツ

Price (in tax) ¥ 15,400（税込み） Made in Japan

● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Saddle patch / サドルパッチ ● Ventilation hole / 空気口 ● Ankle clips / 裾クリップ

Black **Khaki** **Gray** **Beige**

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
XS	72cm	72cm	58cm	32cm
S	80cm	74cm	58cm	33cm
M	84cm	76cm	60cm	34cm
L	88cm	78cm	62cm	36cm
XL	94cm	78cm	64cm	36cm

Material : Cotton（綿） 98% Polyurethane（ポリウレタン）2%

XSサイズは、女性向けのシルエット。後ろの空気穴を省略。

XS size is women's pattern. Without ventilation hole.

Black（ブラック）

Khaki（カーキ）

Gray（グレー）

Beige（ベージュ）

Back

裾クリップを内蔵

No.3075 Cycle denim
サイクルデニム

Price (in tax) ¥ 15,400 （税込み） Made in Japan

● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Saddle patch / サドルパッチ ● Ventilation hole / 空気口 ● 12oz Strech denim / 12 オンス ストレッチデニム

Navy

SIZE	XS	S	M	L	XL

Material : Cotton（綿）95%、Polyurethane（ポリウレタン）5%
12oz Stretch denim（12 オンス ストレッチデニム）

Navy（ネイビー）

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
XS	74cm	77cm	56cm	30cm
S	80cm	77cm	58cm	31cm
M	84cm	78cm	60cm	32cm
L	88cm	79cm	62cm	33cm
XL	92cm	80cm	64cm	34cm

No.3160 Cycle denim plus
サイクルデニムプラス

Price (in tax) ¥ 16,500 （税込み） Made in Japan

● Reflector on the hem / 裾にリフレクター付き ● Smartphone pocket / スマートフォンポケット● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Saddle patch / サドルパッチ ● Ventilation hole / ベンチレーション● 12oz Strech denim / 12 オンス ストレッチデニム

SIZE	S	M	L	XL

Material : Cotton（綿）95%、Polyurethane（ポリウレタン）5%
12oz Stretch denim（12 オンス ストレッチデニム）

Black

Navy

Black（ブラック）

Navy（ネイビー）

サイクルデニムプラスだけの特別仕様

裾曲げ時にリフレクターテープが現れます。

スマートフォンポケット。

Fading of Cycle denim

サイクルデニムを育てる

履き続けることで自分だけの色落ちが楽しめるサイクルデニム。
ジャストフィットで履いて、しっかりペダリングすると自分だけの一本になる。

Faded Cycle denim

New

スタッフ私物
約４年間着用　平均週１～２回着用・洗濯

●ヒゲ
腰周辺にできる色落ち。座ったときにできるシワに沿った色落ちが動物のヒゲのように見えることから。

●アタリ
縫い目など凹凸に沿ってできる色落ちのこと。生地が重なり盛り上がった場所が擦れてできる。

●サドルパッチのアタリ
自転車のサドルとの摩擦によって発生する自転車乗り特有の色落ち。サイクルデニムにおいて最も負荷がかかり補強している個所であり、最も色落ちしやすい箇所でもある。

●ハチノス
膝の裏にできる多角形状にできる色落ち。膝を曲げた時の深いシワがこすれてできる。

【約３間着用】
※色落ちには個人差がございます。

【約４年間着用】
※色落ちには個人差がございます。

No.3156 Smart stretch pants
スマートストレッチパンツ

Price (in tax) ¥ 15,400（税込み） Made in Japan

● Skinny silhouette to prevent contact with chains / チェーンとの接触を防ぐスキニーシルエット ● Smartphone pocket / スマートフォンポケット ● Saddle patch / サドルパッチ ● Cozy comfort & warm material / 肌触り良く暖かい裏起毛素材

Black（ブラック）

Gray（グレー）

Khaki（カーキ）

Navy（ネイビー）

Back

暖かい裏起毛素材

スマートフォンポケット

Black **Gray** **Khaki** **Navy**

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
S	80cm	74cm	58cm	30cm
M	84cm	75cm	62cm	31cm
L	88cm	77cm	66cm	32cm
XL	94cm	78cm	70cm	33cm

Material : Cotton（綿）64% Polyester（ポリエステル）31% Polyurethane（ポリウレタン）5%

No.3179 Oni kimo jogger pants
鬼起毛ジョガーパンツ

Price (in tax) ¥ 16,500（税込み） Made in Japan

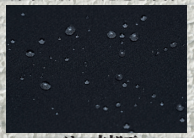
● Designed for ride & pedal / 乗りやすく漕ぎやすい ● Ribbed cuffs / リブ仕様の裾 ● Waistband with adjustable drawstring / 紐で調節可能なウエスト ● Warterrepricant / はっ水 ● Cozy comfort & warm material / 暖かく肌触り良い「鬼起毛」素材

Black（ブラック）

Beige（ベージュ）

Back

非常に暖かい鬼起毛素材


はっ水加工

Black **Beige**

	Waist ウェスト	Inseam 股下	Thigh Round モモ周り	Hem Round 裾周り
S	76 ～ 80cm	70cm	66cm	23 ～ 28cm
M	80 ～ 86cm	74cm	68cm	24 ～ 29cm
L	86 ～ 92cm	78cm	72cm	25 ～ 30cm

Material : Polyester（ポリエステル）90% Polyurethane（ポリウレタン）10%

No.2185 THE JINBEI
ザ ジンベイ

Price (in tax) ¥ 22,000 （税込み） Made in Japan

● Cool and Relaxed Japanese wear / 涼しく動きやすい夏のリラックスウェア
● Waistband with adjustable drawstring / 紐で調節可能なウエスト ● Back pocket on the tops / 上衣にバックポケット ● Top and bottom set / 上下セット

紺 深緑

Material : Linen（麻）40% , Cotton（綿）35%
Polyester Coolmax®（ポリエステル クールマックス®）25%

Kon（紺）

Hukamidori
（深緑）

Back

通気性の良い
トーションレース仕様

バックポケット

Back

No.2210 THE JINBEI amegasuri
ザ ジンベイ 雨絣

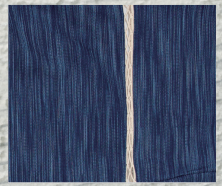
New
5月入荷予定

Price (in tax) ¥ 22,000 （税込み） Made in Japan

Material : Cotton（綿）100%

Amegasuri
（雨絣）

Back



通気性の良い
トーションレース仕様

No.2185 No.2210 共通サイズ表

S	Length 着丈 74cm	Body width 身幅 52cm	Waist ウェスト 72 ～ 80cm	Inseam 股下 24cm
M	Length 着丈 77cm	Body width 身幅 58cm	Waist ウェスト 78 ～ 86cm	Inseam 股下 27cm
L	Length 着丈 80cm	Body width 身幅 64cm	Waist ウェスト 86 ～ 94cm	Inseam 股下 30cm

Tops

トップス

スポーツ自転車にはサイクルジャージ。リンプロジェクトのトップスはこの常識を覆します。

デザインは、カジュアルなポロシャツやボタンダウンシャツなど、普段着として着ても遜色の無いものばかりです。しかし、サイクルジャージのように背中にポケットを取り付けたものや、乾きやすいだけでなく汗染みが目立たない高機能素材を使ったものもあります。その一方で天然繊維の風合いを生かしたものもシーズンごとにラインナップします。

自転車という枠を飛び越えて、その収納力の高さや機能繊維の快適さを毎日感じることができるデイリーウェアがここにあります。

No.2208 4 pocket T (MULTiEFFECT®)

4 ポケット T マルチエフェクト®

White　Navy　Khaki

Price (in tax)　¥ 7,700（税込み）　Made in Japan

- UV protection, Cooling material / UV カット、接触冷感素材
- Quick drying / 速乾性
- Back pocket / バックポケット
- Chest pocket / 胸ポケット
- Sweat Stain Suppressing Fabric / 汗染み防止素材

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈	Sleeve width 袖幅
S	64cm	41cm	50cm	19cm	19cm
M	66cm	44cm	53cm	20cm	20cm
L	68cm	47cm	56cm	21cm	21cm
XL	70cm	50cm	60cm	22cm	23cm

Material : Cotton（綿） 50%　Rayon（レーヨン）50%

New　5月入荷予定

White（ホワイト）

Navy（ネイビー）

Khaki（カーキ）

Back

胸ポケット

MULTiEFFECT® Easy & Comfort

吸汗速乾・UV カット
接触冷感・汗染み防止加工

トップス

No.2124 Military polo shirt
ミリタリーポロ

Price (in tax) ¥ 11,000 （税込み） Made in Japan

● Highly breathable and quick dry / 高い通気性と速乾性● Designed for ride / 乗りやすいデザイン ● Sleeve-Pocket / 腕ポケット ● Back pocket / バックポケット ● Easy Care / イージーケア

Gray（グレー）

Navy（ネイビー）

Back

腕ポケットはカードサイズ

吸汗速乾
ストレッチ

Gray　Navy

	Length 着丈	Chest 身幅	Sleeve length 裄丈	Sleeve width 袖幅
S	62cm	48cm	32cm	21cm
M	66cm	50cm	33cm	21.5cm
L	68cm	54cm	36cm	22cm
XL	68cm	57cm	42cm	23cm

Material : Polyester（ポリエステル） 100%

No.2150 Zip polo shirt
ジップ ポロ

Price (in tax) ¥ 11,000 （税込み） Made in Japan

● Highly breathable and quick dry / 高い通気性と速乾性 ● Designed for ride / 乗りやすいデザイン ● Back pocket / バックポケット ● Sweat Stain Suppressing Fabric / 汗染み防止素材

Gray（グレー）

Blue（ブルー）

Back

Gray　Blue

DISNOTICED
ディスノーティス
汗をかいても目立ちにくい加工

夏にうれしい
汗染み防止素材

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈	Sleeve width 袖幅
S	65cm	41cm	46cm	21cm	21cm
M	67cm	44cm	50cm	22cm	22cm
L	69cm	47cm	54cm	23cm	23cm
XL	71cm	50cm	58cm	24cm	24cm

Material : Cotton（綿） 54%　Polyester（ポリエステル） 46%

No.2164 No sweat Biz shirt

ノースウェット BIZ シャツ

Price (in tax) ¥ 13,200 （税込み） Made in Japan

● Button down shirts / ボタンダウンシャツ ● Moisture-wicking and quick drying / 優れた吸汗速乾性 ● Sweat Stain Suppressing Fabric / 汗染み防止素材 ● Designed for ride / 乗りやすいデザイン ● Back pocket / バックポケット ● Chest pocket with flap / フラップ付き胸ポケット ● Loose fit / ややゆったり目のシルエット

Gray　Blue　White

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈	Sleeve width 袖幅
S	69cm	43cm	49cm	20cm	17cm
M	72cm	45.5cm	52cm	20.5cm	18cm
L	77cm	49cm	56cm	22.5cm	19.5cm

Material ： Cotton（綿）54％ , Polyester（ポリエステル）46％

Gray（グレー）

Blue（ブルー）

White（ホワイト）

Back

DISNOTICED ディスノーティス 汗をかいても目立ちにくい加工

夏にうれしい
汗染み防止素材

背ポケット

トップス

No.2200 Pro tourer shirt

プロツアラー シャツ

Price (in tax) ¥ 13,200 （税込み） Made in Japan

● CORDURA® Fabric / コーデュラ ® 生地を採用 ● Resistant to tears, scuffs and abrasions / 引裂、摩擦、摩耗への優れた耐久性 ● quick dry / 速乾性 ● Designed for ride / 乗りやすいデザイン ● Back pocket / バックポケット ● Chest pocket with flap / フラップ付き胸ポケット

Blue　Check　White

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈	Sleeve width 袖幅
S	71cm	43cm	50cm	62cm	20cm
M	73cm	46cm	53cm	63cm	21cm
L	75cm	49cm	56cm	64cm	22cm
XL	78cm	52cm	59cm	65cm	23cm

Material : Cotton（綿） 60%　Nylon (CORDURA（R)) (ナイロン コーデュラ（R）) 40%

Blue (ブルー)

Check(チェック)

White(ホワイト)

Back

ペン差し穴付き

生地拡大

Durable. Versatile. Reliable. CORDURA FABRIC

優れた耐摩擦性・引裂き強度

No.2193 Cyclist flannel shirts
サイクリストネル

Price (in tax) ¥ 13,200 （税込み） Made in Japan

● Cozy comfort & warm flannel fabric / 暖かく肌触り良いネル素材 ● Designed for ride / 乗りやすいデザイン ● Back pocket / バックポケット ● Chest pocket with flap / フラップ付き胸ポケット

Red check
（レッドチェック）

Navy check
（ネイビーチェック）

Green check
（グリーンチェック）

Back

Red check **Navy check** **Green check**

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈
S	71cm	43cm	50cm	61cm
M	73cm	46cm	53cm	62cm
L	75cm	49cm	56cm	63cm

Material : Cotton（綿） 100%

No.2198 Craft denim shirt
クラフトデニムシャツ

Price (in tax) ¥ 14,300 （税込み） Made in Japan

● Back pocket / バックポケット ● 10oz Strech denim / 10 オンス ストレッチデニム ● One-washed finish / ワンウォッシュ仕上げ ● Back pocket / バックポケット ● 2 Layer Chest Pocket / 二層式胸ポケット

Navy（ネイビー）

Back

2層式胸ポケット（左胸）15 × 9cm 以内

背ポケット

Navy

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈	Sleeve width 袖幅
S	71cm	45cm	48cm	61cm	20cm
M	73cm	48cm	51cm	62cm	21cm
L	75cm	51cm	54cm	63cm	22cm

Material : Cotton（綿） 95% Polyurethane（ポリウレタン） 5%

No.2187 Bikeman parka Light

バイクマンパーカー Light

Price (in tax) ¥ 19,800 （税込み） Made in Japan

● MoveFit® strech material / ムーブフィット®ストレッチ ● Water-repellent / はっ水 ● Designed for ride / 乗りやすいデザイン ● Back pocket / バックポケット ● Chest pocket with zipper / ファスナー付き胸ポケット ● Windproof / 防風

Gray（グレー）

Beige（ベージュ）

Back

はっ水加工

高度なストレッチ性と回復性

Gray **Beige**

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈	Sleeve width 袖幅
S	64cm	41cm	50cm	62cm	24cm
M	67cm	44cm	53cm	64cm	25cm
L	71cm	47cm	56cm	66cm	26cm

Material：Nylon（ナイロン） 100%

No.2179 Oni kimo hoodie

鬼起毛フーディー

Price (in tax) ¥ 19,800 （税込み） Made in Japan

● Water-repellent / はっ水 ● Cozy comfort & warm material / 暖かく肌触り良い「鬼起毛」素材 ● Designed for ride / 乗りやすいデザイン ● Back pocket / バックポケット ● Windproof / 防風

Black（ブラック）

Beige（ベージュ）

Back

Back

はっ水加工

非常に暖かい鬼起毛素材

Black **Beige**

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈	Sleeve width 袖幅
S	68cm	44cm	49cm	68cm	21.5cm
M	70cm	46cm	52cm	70cm	23.5cm
L	72cm	48cm	55cm	72cm	25.5cm

Material： Polyester（ポリエステル）90%, Polyurethane（ポリウレタン）10%

No.2191 Dispatch coat

ディスパッチコート

Price (in tax) ¥ 30,800 （税込み） Made in Japan

● Teflon® water repellent finish / テフロン ® はっ水加工 ● Designed for ride / 乗りやすいデザイン ● Oversized map pocket / 特大マップポケット ● Back pocket / バックポケット ● Windproof / 防風 ● Ventilation / ベンチレーション

Khaki（カーキ）

Navy（ネイビー）

Back

テフロン ® はっ水加工

優れたはっ水と防汚性

Khaki **Navy**

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈	Sleeve width 袖幅
S	78cm	43cm	50cm	62cm	23cm
M	80cm	45cm	54cm	65cm	24cm
L	82cm	48cm	58cm	68cm	25cm

Material ： Polyester（ポリエステル） 100%

No.2192 British wool cycle sweater

ブリティッシュウール サイクルセーター

Price (in tax) ¥ 33,000 （税込み） Made in Japan

● Certified by the British Wool Marketing Board / 英国羊毛公社認定品 ● Excellent heat retention and breathability / 優れた保温性と通気性 ● Back pocket / バックポケット

Ivory（アイボリー）

Charcoal（チャコール）

Back

英国羊毛公社認定

Ivory **Charcoal**

	Length 着丈	Shoulder 肩幅	Chest 身幅	Sleeve length 袖丈	Sleeve width 袖幅
M	63cm	41cm	48cm	62cm	19cm
L	66cm	43cm	51cm	63cm	20cm

Material ： British wool made by Sheeple Yarn Co.（シープレーヤーン社製 英国産ウール） 100%

Rainwear レインウェアー

突然の雨。夏は蒸し暑さが、冬は凍てつく寒さが通勤でも旅行でも、自転車に乗る人を悩ませます。そんな雨のときにリンプロジェクトがおすすめするレインウェアは、昔からサイクルツーリストに愛されてきたレインポンチョです。

雨が降ってきたら、バックパックの上から被るだけ。バッグのレインカバーもいりません。ハンドルを握る手もポンチョが守ってくれるため、グローブを濡らさず、冬の冷たい雨からも指先を守ります。

ポンチョは傘のように下が開いており、空気が循環するため蒸し暑い夏の雨も、蒸れた空気がこもりません。しかも、レインスーツよりも体と触れる箇所が少なく、内部で結露した水分が体に付きにくいので、季節を問わず快適に雨をしのぐ事ができます。レインパンツと併用すれば完璧。泥除けがあればポンチョ単体でも十分効果がありますので、いざという時のお守りとして常にお持ちください。

No.2171 Cycle rain poncho
サイクルレインポンチョ

Price (in tax) ¥ 11,000 （税込み） Made in Taiwan

● Poncho for bicycle & outdoor / 自転車＆アウトドア ポンチョ
● Removable hood / 取り外し可能なフード ● Ventilation / ベンチレーション ● Reflector tape and logo / リフレクターのテープとロゴ

Orange
Khaki

2022年6月1日価格改定
¥9,900 ⇒ ¥11,000

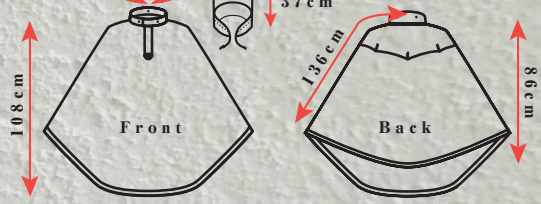
Orange（オレンジ）

Khaki（カーキ）

Back

Attachments（付属品）
Sac（収納袋）

Attachments（付属品）
Long tape（紐・長）、Short tape（紐・短）



Attachments（付属品）：Sac（収納袋）、
Long tape（紐・長）、Short tape（紐・短）

Packed 収納時
22cm × 11cm φ

Material：Nylon（ナイロン、PVC防水加工）100%　Weight 600g

着脱式フード

背中にベンチレーション

レインウェアー

Bag

バッグ

通勤やトレーニング中ですら、パンクなどのトラブルは突然起こるため、最低限の工具は常に自転車に付けておきたいものです。

ツーリングのように一日中自転車で移動するときは、体力を温存するためにも、荷物はなるべく自転車に取り付けておきたいもの。

リンプロジェクトのバッグシリーズは、日常から旅まで使えるものばかり。日本の輪行文化に寄り添う背負えるサドルバッグや、スマホ対応のボトルホルダー、サイズ可変式のモバイルホルダーなどを、リンプロジェクトならではの発想で作っています。

No.1050 Travel saddle bag 14L

トラベル サドル バック 14L

Price (in tax) ¥ 15,400 （税込み） Made in Japan

● Large Saddle-bag that can be converted into a backpack / バックパックとして使用可能な大型のサドルバッグ ● Roll top / ロール開閉式 ● D-rings for luggage attachment strap / 荷物固定ストラップ用 D リング付き ● Reflector / リフレクター ● Unnecessary bracket / 取付け金具不要

Black **Navy** **Khaki**

Hight 高さ	Width 幅	Lenght 長さ	Capacity 容量	Weight 重さ
14cm	21cm	37 ～ 55cm	約 8 ～ 14L	500g

Material ：PVC backed nylon (PVC 加工ナイロン) 、Tarpaulin (PVC)

Black（ブラック）

Navy（ネイビー）

Khaki（カーキ）

Transform
（バックパック変形時）

セット内容：本体、ショルダーベルト、タイヤプロテクター

Contents：Body, Shoulder belt, Tire protector

※取付け間隔は余裕をもってご利用ください

No.1063 Air roll pack

エアロールパック

New
9月入荷予定

Price (in tax) 価格未定 Made in Japan

● Air circulation back panel / 背面通気機能 ● Roll top closure / ロール開閉式 ● Water repellent finish / 撥水加工 ● Detachable pouch on the front / 全面に着脱式ポーチ付き

Khaki Black

Hight 高さ	Width 幅	Depth 奥行き	Capacity 容量	Weight 重さ
44 ～ 64cm	30cm	15cm	約 19 ～ 28L	1200g

Material : Nylon (ナイロン)

Khaki (カーキ)

Black (ブラック)

No.5106 Flex holder

フレックスホルダー

Price (in tax) ¥ 5,500 (税込み) Made in Japan

● Variable size mobile holster / サイズ可変式モバイルホルダー ● Hold a smartphone, 350 ml beverage cans, etc / スマートフォンや350mlの飲料缶などを収納できる ● Attach to backpacks, bicycle frames, etc. / バックパックや自転車のフレームなどに取り付け可能

Red Khaki Navy Black Brown

Material : Nylon (ナイロン)

Red (レッド)

Khaki (カーキ)

Navy (ネイビー)

Black (ブラック)

Brown (ブラウン)

Back

縦 外周 39cm

横 外周 25cm

【出荷時サイズ】
高さ 12cm × 横 9cm × 奥行き 5cm
重さ 90g
【収納サイズ】
縦 39cm x 横 25cm
(収納物の外周寸法)
【静止耐荷重】
400g ※各部の面ファスナーを最低2cm重ねること

No.5095 Multi bottle holder

マルチボトルホルダー

Price (in tax) ¥ 6,600 （税込み） Made in Japan

● Belt attachable for handle/ ベルト固定 ● Light-weight hollow fiber fabric / 軽量な中空糸ナイロンを使用 ● Drainage mesh bottom panel / 雨を貯めないメッシュ底 ● external pockets for smartphone & battery / スマートフォン&バッテリー用のポケット

Black **Camouflage** **Navy chcek**

Hight 高さ	Φ 直径	Weight 重さ
16cm	10cm	75g

Material : Nylon（ナイロン）

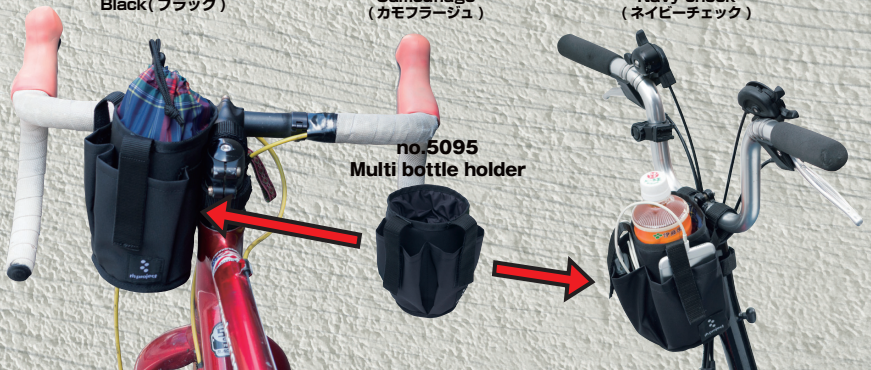
Attachments（付属品）: Fasten strap × 3
（固定ストラップ×3）

2022年6月1日価格改定
¥5,500 ⇒¥6,600

Black（ブラック）

Camouflage
（カモフラージュ）

Navy check
（ネイビーチェック）



No.5100 Multi Bottle Holder Canvas

マルチボトルホルダーキャンバス

Price (in tax) ¥ 7,700 （税込み） Made in Japan

● Classical Canvas Material / クラシックなキャンバス素材 ● Belt attachable for handle/ ベルト固定 ● Drainage mesh bottom panel / 雨を貯めないメッシュ底 ● external pockets for smartphone & battery / スマートフォン&バッテリー用のポケット

Navy **Khaki** **Beige**

Hight 高さ	Φ 直径	Weight 重さ
16cm	10cm	75g

Material: Acrylic(アクリル),Nylon(ナイロン)

Attachments（付属品）: Fasten strap × 3
（固定ストラップ×3）

2022年6月1日価格改定
¥6,600 ⇒¥7,700

Navy（ネイビー）

Khaki（カーキ）

Beige（ベージュ）

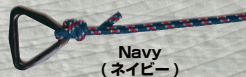
No.5104 Shoulder cord ショルダーコード

Price (in tax) ¥ 1,100 （税込み） Made in Japan

●Shoulder Code for Multi bottle holder / ボトルホルダー用ショルダーコード ● Max 150cm ● 5 colors

Black
（ブラック）

Khaki
（カーキ）



Navy
（ネイビー）

Red
（レッド）

Brown
（ブラウン）

Mini Vélo Club

no.1045

Brompton rinko bag

ブロンプトン 輪行バック　made in JAPAN

Price (in tax)　¥12,100 (税込み)

■ Carrying bag for Brompton ブロンプトン用輪行袋 ■ Use as is Brompton in the bag, wheeled on the road. 袋に入れたまま転がして移動可能 ■ Completely wraps brompton. ブロンプトンを完全に収納可能 ■ Bottom openable as needed. 必要に応じて底を開閉可能

● Navy check (ネイビーチェック)　● Red check(レッドチェック)
● Black (ブラック)　● Camouflage (カモフラージュ)
● Night gray (ナイトグレー)　● Smoke green (スモークグリーン)
● Wine red (ワインレッド)

Hight (高さ) 55cm. Width (幅) 60cm. Bottom width (幅) 55cm.
Depth (奥行き) 25cm. Weight (重さ) 250g
Packed (収納時) 24cm × 11cm

Material : Nylon: (ナイロン) 100%, PVC
Attachments 付属品 : Shoulder strap (ショルダーベルト), Sac (収納袋)

Black(ブラック)

Navy check (ネイビーチェック)

Night gray (ナイトグレー)

Smoke green (スモークグリーン)

Wine red (ワインレッド)

Attachments (付属品) :
Shoulder strap (ショルダーベルト)

Red check (レッドチェック)

Camouflage (カモフラージュ)

ミニベロ

no.5079
BP carry handle
BP キャリーハンドル

made in JAPAN

Price (in tax) ¥8,800 (税込み)

■ Easy to carry for brompton. ブロンプトンを簡単に持ち運べる
■ To protect against pedal scratching. ペダルによる傷つきを防止

Gray | Black | Red | Green

Length (長さ) 30cm. Width (幅) 20cm. Weight (重さ) 230g

Material : Nylon (ナイロン) 100%
Attachments (付属品): Shoulder strap (ショルダーベルト), Fasten strap of wheel (車輪固定ストラップ)

Gray (グレー) | Black (ブラック) | Red (レッド) | Green (グリーン)

Camouflage Version (カモフラージュ版) ¥9,900 ↓↓↓

Attachments (付属品):
Shoulder strap (ショルダーベルト)
Fasten strap of wheel (車輪固定ストラップ)

no.5063
Brompton frame pad
ブロンプトン用フレームパッド

made in JAPAN

Price (in tax) ¥2,750 (税込み)

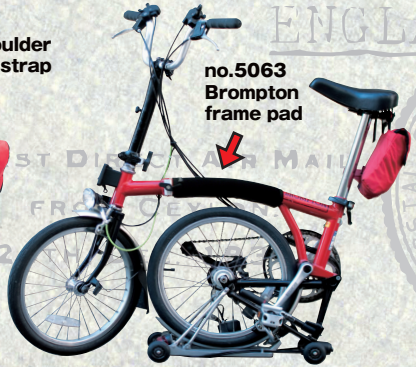
■ Rin project original / リンプロジェクト オリジナル ■ Especially design for Brompton / ブロンプトン専用設計

Black | Navy | Red | Khaki | Yellow | Orange

Length (長さ) 29cm. Width (幅) 16.5cm. Weight (重さ) 30g

Material : Nylon (ナイロン), Compression urethane (圧縮ウレタン), Tricot (トリコット)

Black (ブラック) | Navy (ネイビー) | Red (レッド) | Khaki (カーキ) | Yellow (イエロー) | Orange (オレンジ)



no.1039
CARRY ME rinko bag
キャリーミー 輪行バック

made in JAPAN

Price (in tax) ¥ 9,130 (税込み)

■ Carrying bag for Carry Me / キャリーミー用輪行袋
■ Use as is CarryMe in the bag, wheeled on the road / 袋に入れたまま転がして移動可

Black | Khaki | Gray

Hight (高さ) 98cm. Width (幅) 23cm. Depth (奥行き) 29cm
Weight (重さ) 250g Packed (収納時) 24cm × 11cm

Material : Nylon: (ナイロン) 100%, PVC

Attachments (付属品) :
Shoulder strap
(ショルダーベルト)
Sac (収納袋)

Black (ブラック)

Khaki (カーキ)

Gray (グレー)

No.1039
CARRYME
rinko bag

no.5103
Mini vélo pouch
ミニベロポーチ

made in JAPAN

Price (in tax) ¥ 4,400 (税込み)

■ Small bag for small wheeled bicycles and folding bicycles / ホイールの小さな小径車や折畳み自転車向け小型バッグ ■ Can be hung from the saddle or handlebars / サドルやハンドルにぶら下げ可能 ■ Can be hung for hanging parts of Brompton genuine suddle ブロンプトン純正サドルの吊り金具装着可

Blue | Khaki | Beige | Black

Width (幅) 17cm Bottom width (下幅) 13cm Hight (高さ) 20cm
Depth (奥行き) 5cm

■ Material : Nylon (ナイロン)

Blue (ブルー)

Khaki (カーキ)

Black (ブラック)

Beige (ベージュ)

Back

Mini Vélo Club
Travel
photos

No.8042 Mosaic gloves
モザイクグローブ

Price (in tax) ¥ 5,500 (税込み) Made in Japan

● Quick dry / 速乾性 ● Reflector / 反射素材 ● Stretch material / ストレッチ素材

Beige | Navy | Black

SIZE	Please refer to the size chart / サイズ表を参考にしてください。 S ・ M ・ L

Material : Outer (甲) = Polyurethane (ポリウレタン) 53%、Nylon (ナイロン) 47%
Palm (掌) = Nylon (ナイロン) 60%、Polyurethane (ポリウレタン) 40%

Beige (ベージュ)

Navy (ネイビー)

Black (ブラック)

No.8030 Wind shelter gloves
ウィンドシェルターグローブ

Price (in tax) ¥ 9,900 (税込み) Made in Japan

● Protection against cold weather glove / 寒い日用のグローブ
● Reflector / リフレクター ● Touch Panel OK / タッチパネル対応

Black | Gray

SIZE	Please refer to the size chart / サイズ表を参考にしてください。 S ・ M ・ L

Material : Material : Outer (甲) = Polyester (ポリエステル) 100%,
Palm (掌) = Nylon (ナイロン) 60%、Polyurethane (ポリウレタン) 40%,
Wrist (手首) = Acrylic (アクリル) 60%、Wool (ウール) 40%

Black (ブラック)

Gray (グレー)

Saitos Waterproof Breathable Laminated Fabric

優れた防風透湿性
※防水仕様では
ありません

No.8043 Washi gloves

和紙グローブ

Price (in tax) ¥ 2,200 （税込み） Made in Japan

● Japanese Washi paper fabric / 和紙繊維 ● Moisture wicking / 吸湿発散 ● Highly breathable and quick dry / 高い通気性と速乾性 ● 3D knit(WholeGarment®) / 立体編み立て（ホールガーメント®） ● Reflector / リフレクター● Rubber grip dot / ラバー滑り止め付き

灰 紺 苔

SIZE FREE

Material : Polyester（ポリエステル）45% , Washi（和紙）25% , Cotton（綿）25%
Polyurethane（ポリウレタン）5%

Hai（灰）

Kon（紺）

Koke（苔）

Glove Sizing chart グローブのサイズ表

左手親指の第一関節とほぼ同位置にある生命線の始点と、小指の付け根と手首を結んだ線の手首から３分の１の距離を結んだ手の平の周りの長さ。

	Glove Sizing chart グローブのサイズ表
S	20 ～ 22cm
M	22 ～ 24cm
L	24 ～ 26cm
FREE	20 ～ 24cm

No.8044 Washi socks

和紙ソックス

Price (in tax) ¥ 1,650 （税込み） Made in Japan

● Japanese Washi paper fabric / 和紙繊維 ● Moisture wicking / 吸湿発散 ● Highly breathable and quick dry / 高い通気性と速乾性 ● 3D knit(WholeGarment®) / 立体編み立て（ホールガーメント®）

灰 紺 苔

SIZE FREE （24 ～ 27cm）

Material : Polyester（ポリエステル）45% , Washi（和紙）25% , Cotton（綿）25%
Polyurethane（ポリウレタン）5%

Hai（灰）

Kon（紺）

Koke（苔）

No.8038 Arm cooler

アームクーラー

Price (in tax) ¥ 3,080 （税込み） Made in Japan

● Arm cover / アームカバー ● Cooling fabric that Cooler than not wearing / 身に着けたほうが涼しい冷却素材 ● Sun protection UPF 50+ / UPF 50+ 紫外線カット ● Moisture-wicking and quick drying / 優れた吸汗速乾性

Black **White**

SIZE FREE

Material：Nylon（ナイロン）93%， Polyurethane（ポリウレタン）7%

Black（ブラック）

White（ホワイト）

No.5057 Reflector belt

リフレクターベルト

Price (in tax) ¥ 3,960 （税込み） Made in Japan

● Reflector Stitch / リフレクターステッチ ● Steel buckle / スチールバックル

Black **Khaki** **Beige**

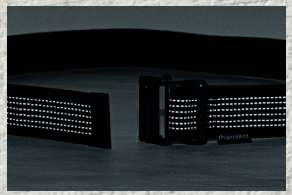
SIZE ～109cm × 3.8cm Weight 105g

Material： Acrylic（アクリル）， Polypropylene（ポリプロピレン、反射素材入り）， Steel（スチール）

Black（ブラック）

Khaki（カーキ）

Beige（ベージュ）



リフレクター

No.5004 Frame pad
フレームパッド

Price (in tax) ¥ 2,860 （税込み） Made in Japan

● Rin project original / リンプロジェクト オリジナル ● Protect top-tube / トップチューブを保護する ● Six colors / 全６色

Black | Navy | Khaki | Yellow | Orange | Red

SIZE	46cm × 15.5cm Weight 40g

Material：Nylon（ナイロン）100%
Core Material（芯材）：Compression urethane tricot（圧縮ウレタン）
※ Wraps up to 125mm circumference. / 外周 125mm まで対応。

No.5005 Mesh frame pad
メッシュフレームパッド

Price (in tax) ¥ 2,860 （税込み） Made in Japan

● Rin project original / リンプロジェクト オリジナル ● Protect top-tube / トップチューブを保護する ● Mesh Type / メッシュタイプ ● Quick-drying / 速乾

Blue | Black | Gray

SIZE	46cm × 15.5cm Weight 40g

Material：Nylon（ナイロン）100%
※ Wraps up to 125mm circumference. / 外周 125mm まで対応

Rin project Customer Shop　リンプロジェクトカスタマーショップ

■ リンプロジェクトの最新製品に触れていただき、ご購入いただけます。 / Where bike people are welcome. Drop by and feel our latest products
■ リンプロジェクト　カスタマーショップは、私たちの旅の拠点であり、お客さまとの接点です。あなたが自転車旅で見た、知らない風景の話を聞かせてください。
/ Rin Project Customer Shop is start point of our bike trip, and touch point with our customers. Tell us about unseen scenery from your bike trip.

■ 営業日 OPEN

平日 WEEKDAY：1:00 pm ～ 6:00 pm
土・祝 SAT, National Holidays 11:00 am ～ 6:00 pm

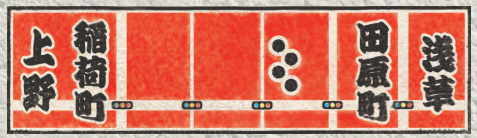
営業日

■ 定休日 CLOSED

水・日 WED. SUN.（祝祭日は営業 Open on national holidays.）
年末年始、イベントなど臨時休業有り 詳しくは WEB をご覧ください。
For more information on temporary closures, please visit the web.

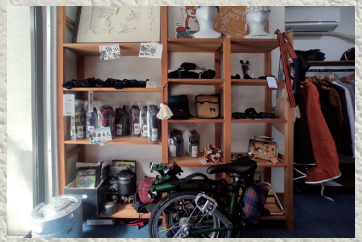
〒111-0036
東京都台東区松が谷 1-2-3 ニュー松が谷マンション 1F
Tel;03-3842-2883　Fax;03-3842-2889
info@rinproject.com

1-2-3-1F Matsugaya Taito-ku Tokyo JAPAN
Zip111-0036
Tel;81-3-3842-2883　Fax;81-3-3842-2889
english@rinproject.com



MAP

銀座線、稲荷町もしくは田原町下車５分。詳細は右側のＱＲコードで。



Event & Touring

Event

トークショー

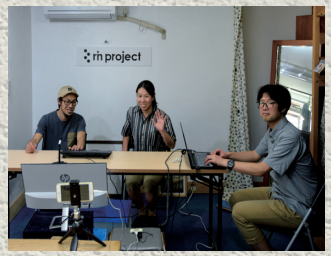
BIKE and CAMP

Movie & Live streaming

You Tube

rin project

You Tube 動画配信　rin project Channel



リンプロジェクトチャンネル、ライブ配信

Touring

いすみ鉄道小湊鉄道を巡る千葉房総ツーリング

2019/5　安曇野サイクリング

2017　四国ツーリング

2021/12 安来ぶらりチャリ

【B.B.BASE】サイクルアパレルブランドと行く
春の BOSO BBQ RIDE

2018 東北・三陸ジジイツーリング

2019/4　見沼花見ツアー

2016/11　九州ツーリング

ALL STREET JOURNAL P22 ストリートの答え

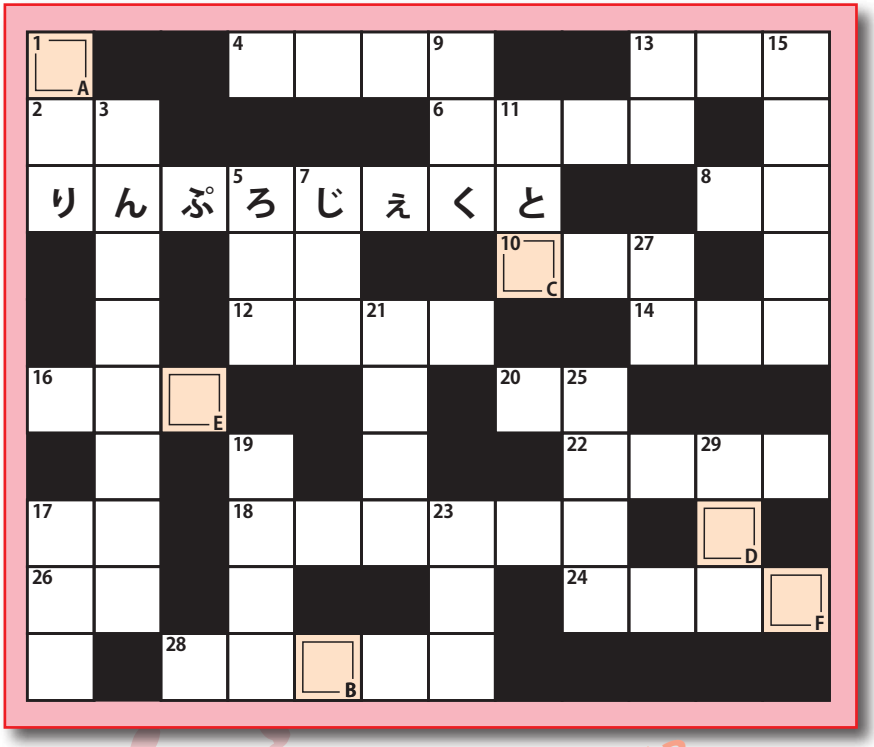
ちょっと一休み！

イズミの自転車クロスワードパズル

自転車クロスワードで頭の体操はいかがですか！自転車に関する事や、リンプロジェクトに関する事が多く含まれています。このカタログを読み込めばいくつか答えが分かります♥

縦のヒント

① 雪洞（ぼんぼり）・提灯など夜道を照らすもの
③ 安来旅の往路で乗った寝台列車の名前（7頁参照）
⑤ 思考や議論を進めていくための筋道。〇〇〇的思考
⑦ 味方の軍隊やチーム
⑨ 1990 年代にレースで使われていた牛革製の頭部保護具。リンプロジェクトでは約 20 年前に浅草の職人と協力し復刻しました（３頁参照）
⑪ ギリシャ語の 4、または正四面体。〇〇〇ポッド
⑬ ８本足が特徴的な海の軟体生物、加熱すると赤くなる
⑮ 名古屋が誇る赤味噌たっぷりの鍋料理。特にうどんが有名
⑰ もともとは入浴時や入浴後に着た衣類、今は夏祭りに着ていくと粋
⑲ リンプロジェクトがある地域の名称、日本が世界に誇る観光地
㉑ 南北アメリカの高地に生息する大型の鳥、飛んでいく楽曲が有名
㉓ けんか、紛争、戦争。順位を競い合うこと。〇〇〇ロイヤル
㉕ 正式名称は「アカムツ」。全国第二位の漁獲量を誇る島根県産は〝どんちっち〇〇〇〇〟
㉗ リンプロジェクトのメルマガ担当。このカタログやHP も彼が中心になって作成。最近は安来を旅した
㉙ きざし、気配。春の〇〇〇



答え AからFをつなげて答えてね！

A	B	C	D	E	F

答えは←次のページにあるよ。

解るかな？

できたかな～？

横のヒント

いくぞーおー！

② 雨が降ると活躍する道具、日差しを遮るのに使うこともある。携帯に便利な折り畳み型もある
④ 東京五輪で室内自転車競技が開催された県（3頁の寄稿文も参照）
⑥ 楊柳生地で作られた夏の定番パンツ （14頁参照）
⑧ 茹でると赤くなる甲殻類。安来ツアーの晩御飯にも登場（10頁参照）
⑩ 暗くなったら早めの点灯を！
⑫ 自転車を解体し専用の袋に入れ、公共交通機関で移動すること
⑬ 井草を編んで作った床
⑭ 日本酒や醤油を作る過程でできる、発酵したどろどろの液体。これを絞って製品にする
⑯ 葛粉からつくったとろみのある飲み物。風邪の初期にすりおろした生姜を入れて飲んだりもする
⑰ 冬至の日にお風呂に入れる柑橘類。ポン酢や味噌・胡椒に加工してもおいしい
⑱ 自転車のサドルやシートポストに固定して使うかばん、荷物を背負わずにすむようになり便利。＊リンプロジェクト製は自転車から取り外した時に背負えるのでとっても便利。（33頁参照）
⑳ 〇〇より思い出
㉒ 自動車で出かける際、目的地までの移動を楽しむこと。また、移動を目的としてでかけること
㉔ リンプロジェクトの営業担当。カメラマンやモデル・動画編集もこなし、御荷鉾や安来で活躍
㉖ 葱を背負ってやってきてくれると嬉しい鳥。ゆすりやたかり、詐欺をしやすそうな相手の事
㉘ 要らなくなったものから新しいものを作ってもう一度使うこと

流行語で振り返る思い出

「ゴン攻め」な二人

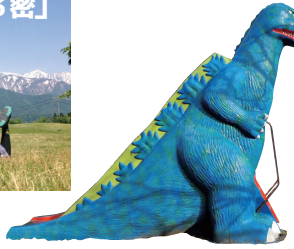
「ONE TEAM」でイェーイ

BIKE & CAMP で「もぐもぐタイム」

おいしいね。「そだねー」

YMCA やるなら「今でしょ！」

背中で「お・も・て・な・し」



うぉ～

ケンカしちゃ「ダメよ～ダメダメ」

ヤバい！日が沈むぞ！といいつつウットリ写真タイム。

いよいよ日が傾き、気温もグッと下がってきた。やわらかい橙色の光が次第に濃くなり、やがて紫掛かってゆく。マジックアワーだ。空気が澄んでいる分、余計に美しい。やはり日の入りは見ておかないと。と言い訳をしている内に辺りは真っ暗になってしまったのである。御荷鉾の三束雨だ。まだ大丈夫っしょ！と言っていたことを後悔する。だがしかし、ここで自慢のライトCATEYE VOLT 1200の出番である。「おれのVOLT 1200が火を噴くぜ」と言ってからスイッチを長押しする。するとモーセが海を割った伝説のように、暗闇を割り遠く長く照らされた道が開かれる。工漫録もごっついライトでモーセ気分である。

辺りは静まり返り、ジャリジャリとタイヤが刻むリズミカルなビートだけが響き渡る。心地よい音に、心地よい疲れ。空気圧の低い自転車でフワフワ走っているうちに、ゴールであるみかぼ森林公園管理棟が見えてきた。不思議なことに皆下山しているであろう時間なのに何やら管理棟近辺が妙に明るく賑やかだ。到着してみると子供会だろうか、地元のご家族達が大きな白い布と灯りを利用して虫を捕りに来ていた。真っ暗になり大変心細かったが大勢の人に囲まれて安心して帰り支度をすることが出来たのである。ところで、ぼくも虫を捕獲して帰らないといけない。それは『かいこの一生』という蚕の幼虫をモチーフにしたチョコレートをゲットして帰る事である。群馬県の富岡製糸場のお土産として、そのビジュアルがリアルすぎると大変話題のお菓子で、弊社スタッフのトモさんとイズミさんご所望の逸品だ。

噂のお土産。幼虫の再現度が高すぎると評判の逸品だ。

幼虫の再現度が高すぎるぅぅぅぅぅ。

藤岡PAに立ち寄るがこのご時世だ。時短営業によりお土産屋さんも飲食店も閉店してしまっていた。トモさんとイズミさんの悲しい顔が脳裏を過り少々焦ったが、上里SAで無事捕獲することができた。埼玉県にもかいこの一生が生息していることが判明し、ぼくと工漫録の冒険は幕を閉じるのであった。

ある日突然、あなたのスマートフォンにLINEが送られてくるかもしれない。それはきっと全然前に進まないとびきり距離の短い冒険のお誘いだろう。それでもよろしければ、是非あなたも一緒に。

写真・文　rocky

rin project

YOU TUBE Channel

『rin project 御荷鉾スーパー林道 グラベルライド』

ぼくたちのグラベルライドの動画を、ぜひ見てください。

御荷鉾スーパー林道展望台。ここから眺める景色もまた絶景。

この冒険のハイライト八倉峠の崩落箇所。眼下に広がる桃源郷。

さて、ぼくたちは14時の時点で往路ゴールの御荷鉾スーパー林道展望台に到着していない。15時には戻ってこようね♪と言っていたはずだが。工漫録は「おかしいな。なんでこんなに進んでいないんだ?」と首をかしげていた。少しの焦りを覚えつつ2.5㎞先の展望台へ到着したのは15時20分であった。13㎞の道のりに約5時間もかかってしまったのである。

展望台はかなり立派なウッドデッキが設置されていた。やっぱり御荷鉾、100人乗っても大丈夫ぐらいの広さだ。山の奥に山。またその先にも山。だんだんと霞む山々の景色にウットリしたら、急いで復路ゴールのみかぼ森林公園管理棟へ折り返す。

そんな折、数少ない舗装路を勢いよく下っていたら、下りすぎていることに気が付いた。道を間違えたのである。「下り坂サイコー!!」と気持ちよく叫んでいたが後の祭りだ。泣く泣く正しいルートまで登るが、貴重な時間をロスしてしまったのである。この先道を間違えてはいけない。真っ暗になるからだ。そしてスマートフォンの野郎も頑なにほぼ圏外の状態を決め込んでいる。あきれたやつである。

苔が織りなす見事なグラデーションの壁。
絶景とは雄大な景色だけではなく身近な所にも存在する。

前日まで雨が降っていた為、所々に大きな水たまりも。

光と影の木漏れ日が心地よく、白い砂利が眩しい。

この地域では古くから伝わる『御荷鉾の三束雨』ということわざがある。御荷鉾山に雷が発生すると麦を三束たばねないうちに雷雨がやってくるよ、という天気俚諺だ。ようするに、まだ大丈夫と思っているうちにびしょ濡れさ。びしょ濡れにはならなかったが、このことわざが大きな影響を及ぼすこととなる。まだ大丈夫っしょ。写真に夢中になっているぼくたちは後にその言葉を後悔することとなった。

森のトンネルに入れば木漏れ日が降り注ぎ、光と影がまるでオセロのような模様を生み出す。何百メートルにも及ぶ苔生したコンクリートの壁は美しい緑色に染まり、大自然が織りなすグラデーションにため息が漏れる。人の手が入らない奇跡の絶景を楽しめる御荷鉾スーパー林道。ハイライトは八倉峠の崩落箇所。やっぱりここだった。前情報で知ってはいたが画面で観るのと、現場で観るのとでは、迫力が違う。こういうのを空気感というのだろう。2007年の台風で崩落したまま時が止まっている絶景。完全なる非日常だ。道路が突然無くなっているのである。そしてこの先に見える遠い山々のかすむ稜線。そこに広がる景色はまるで桃源郷のようだった。

桃源郷を眺めながら桃太郎ごはんを食べようとは誰が言いだしたか。どちらにしても14時を過ぎているのでおなかもペコペコである。少し変わった味のキジ肉とモチモチ食感の桃太郎ごはん。同じくモッチモチのきび餅を食らえば、腹の底からみるみる力が湧いてくる。即効性があり効果は絶大か。絶景を拝みながらの食事は何物にも代えがたい贅沢である。結局、野生動物から家来の申請が無かった為、きび餅は食べきってしまった。

甘楽ソウルフード桃太郎ごはん。
一口食べれば元気モリモリだ。

車から自転車を降ろし、せっせと出発の準備だ。なにせもう10時半である。9時到着を見込んでいたのに、思いの外時間がかかってしまった。遊ぶ時間が限られる。というのも、ここは標高1000mの山の中。街灯などあるわけもなく、電波も非常に入りにくい。暗くなっては大変危険なので15時までにはここに戻ってこようと約束し『御荷鉾スーパー林道展望台』を目指して出発する。片道13kmの大冒険だ。

改めて言うが、すこぶる天気が良い。前日まで降っていた雨のおかげで、すっきりとした青空が広がる。日差しはきついが冷たい空気が心地よい。林道はぬかるんでいることもなく、踏み固められた砂利道は非常に走りやすい。ずっと未舗装路が続くと思うとワクワクする。すれ違うオフロードバイクのライダーが軽くクラクションを鳴らして挨拶をしてくれる。非常に気持ち良い道のりが続くのである。

オフロードバイクのライダーと一緒に出発だ。

ところで、ぼくも工場録も写真を撮ることが大好きだ。したがって二人の冒険はビックリするほど前に進まない。むしろ歩いた方が早いんじゃないかと言われるほどだ。のっけからあまりのロケーションの良さに舞い上がり、ハイテンションで写真を撮って遊んでいた。するとどうだろう。スタートしてから1時間。まだ2kmしか進んでいないことが判明した。さすがにまずいだろうということになり、撮りたい衝動を抑えつつ、ジャリジャリとタイヤと石粒が交わる未舗装路独特の音を奏でながら少しづつ前に進んでいった。

1時間で2kmしか進まない理由は撮ってばかりいるから。

猛毒のマムシグサの実は食べてもダメ触ってもダメ。

漢方薬の生薬として使われる毒々しいトリカブト。
あちこちに自生していた。

厳しい残暑が続く9月某日。仕事の疲れを発泡酒で流し込みながらぐったりしていると工漫録（タクミマンロク）からＬＩＮＥが届いた。扇風機がつまらなそうに首を振っている。工漫録はぼくのマイメンであり旅のバディである。彼はもつ煮と未舗装路が大好物だ。ＬＩＮＥアプリを立ち上げると、どこで入手したのか怪しいスタンプが画面の中でうごめいていた。次に『御荷鉾スーパー林道ツーリング！』というブログのリンクが送られてきた。冒険のお誘いである。

御荷鉾……なんて読むのだろうか？ おんにぼこ？ それよりもスーパー林道って……カッコいいじゃん！ ブログを読んでみるとミカボと読むこともわかった。もはやアドベンチャーの匂いしかしない。スーパー林道というパワーワードで妙に興奮してしまったぼくは、ぬるくなった発泡酒をのどに流し込み、声高々に「スーパーリンドー！ ミカボー！ リンボー！」と、近所に配慮して心の中で叫んだ。扇風機も楽しげに首を振っていた。

早速、工漫録と冒険の計画を練っていく。走行距離は短ければ短いほど良い、なるべく汗はかかない方が良い、未舗装路区間だけ走りたいという超わがままな計画は着々と進行していった。その結果、みかぼ森林公園管理棟から御荷鉾スーパー林道展望台の往復約26㎞が完全未舗装路で距離が短いという、良いとこ取りのおいしいプランが完成したのである。現地までは車で輪行だ。

２０２１年10月某日朝４時半。早朝出発の計画を後悔しながらスマホのアラームと闘う。６時に工漫録を迎えに行く予定だ。インスタントコーヒーに砂糖と牛乳をたっぷり入れながら、忘れ物がないか昨日の準備を思い返してみる。もちろん輪行袋に入れた自転車は車に積載済みだ。うん、たぶん大丈夫だろう。工漫録と合流していざ出発である。

現地までは関越自動車道から藤岡ＪＣＴで上信越自動車道へ、富岡ＩＣを降りて46号を登って行く。東京から片道１６０㎞で3時間ほどかかるのではないかという予想だ。

天気がすこぶる良い。朝飯は高坂ＳＡのベンチでいただく。工漫録の奥様特製弁当だ。なんとぼくの分まで用意してくれていた。大きなゆかりおにぎりと、カワイイおかずピックが刺さったウィンナーに卵焼き。おっさん二人が仲良く肩を並べ、朝から幸せを噛みしめる。お腹いっぱい、胸いっぱいとはこういうことなのか。富岡ＩＣを降りて46号をしばらく進むと『道の駅甘楽』が現れる。ぼくたちは昼食の調達をするために立ち寄った。これより先にオアシスは無いし、当然だが現地に売店などは存在しない。

道の駅甘楽は古民家風で店内には地元の野菜やお土産が並ぶ。フードコートの本格窯焼きピザが美味そうである。自転車で持ち運べて腹持ちの良さそうな昼食をディギンしていると、あきらかに推しと思われるグッドサイズのお弁当を発見した。『桃太郎ごはん』だ。桃太郎ごはんは、きじ肉ともちキビを使用した甘楽町のローカルフードである。学校給食にも登場するほど地元ではおなじみの味だとか。なるほど桃太郎。一部の家来が材料であるが、珍しいローカルフードが大好きなぼくたちは旅のお供に即決だ。それから万が一林道で動物から家来の申請があった時の為にきび団子ならぬ『きび餅』も購入した。

道の駅甘楽からスタート地点である『みかぼ森林公園管理棟』までは約23㎞。ここからは山に向かって46号をひたすら登ってゆく。次第に町の景色が砂粒を広げたように小さく霞み、本格的な九十九折の激坂を深い森に向かって突き進む。いくつか極端に道幅の狭い箇所があり「対向車が来ませんように！ なむなむ！」と祈りながら、マイ軽自動車『ちゃん太郎』もブリブリと登坂するのであった。頂上付近に差し掛かったところで『みかぼ森林公園』の看板が現れる。御荷鉾スーパー林道の入り口だ。ここからが未舗装路となりガタガタと2㎞ほど登れば、みかぼ森林公園管理棟へ到着だ。

mikabo super forest road gravel ride

御荷鉾スーパー林道 グラベルライド

御荷鉾山（みかぼやま）は、群馬県神流町と藤岡市にある山である。東御荷鉾山、西御荷鉾山、オドケ山、この三山を総称してミカブ、ミカボと呼び、日本武尊が山を越える際「祈りのホコヲニナハセテマフ」と言ったことから山名に鉾をあてられたという由来や、弘法大師が鬼神の末裔を退治したという伝説もある。

さて、そんな古来より人々の信仰の山であった御荷鉾山には関東最大級と呼ばれる林道が存在する。その名も『御荷鉾スーパー林道』。

工漫録のバイク：All City SPACE HORSE DISC

ぼくのバイク：SURLY STRAGGLER

⇐ 御荷鉾スーパー林道を走破中。続きは本文へ。

みかぼ森林公園管理棟。さあ、いよいよグラベルローディング。

小豆島の南側の草壁に入ると、ちらほら醤油の文字の看板やら幟が目に入ってくる。醤の郷（ひしおのさと）と呼ばれるエリアは醤油蔵が集積する。宿のチェックインの時間までまだ余裕があるので街中を自転車で散策をする。マルキン醤油の醤油記念館を覗いてみるが営業時間を過ぎていた。併設の物産館でお土産になりそうな物を探してみる。いつもそうではあるが、自転車の旅でのお土産選びはどこで買うかが悩みどころ。早い段階で買っても荷物になるし、重くなる物や破損しやすい物は特に悩む。今はスルーして再び散策に出かけ、程よい時間に宿に向かうのであった。

翌日8時頃に宿を立つ。昨晩の料理に使われていた醤油が味も粘度も濃い目で美味しかったので蔵元を宿の女将さんに教えてもらっていた。表通りから路地に入って、しばらく走ると瓦屋根が付いた石塀が多い地域に入っていた。そしてその先に目指すヤマロク醤油の蔵がある。目当ての醤油を数本購入し、厳重にカバンにしまって、再び走り出す。

海岸線に沿って土庄（とのしょう）へ向かう。薄曇の空だがこの日も暑い日であった。汗が噴き出さない程度でペダルを漕ぐ。多少の起伏はあったが、1時間半位で土庄に到着。街中を流しながら散策した後、コンビニで休憩がてら次の予定を決める。

今晩8時頃には神戸に行かなければならないので、フェリーを大部港か福田港のどちらを使うか決めなければならなかった。島の北部に向かう山越え道での消耗具合でどちらかに決めよう。

決めました。大部港から岡山県備前市の日生港に向かい、そこから輪行で神戸へ向かいます。福田港へ行くにも同じ位の山越えがあるので少し自信が無い。来た時とは違うルートの方が少し楽しみが多いような気がするし、岡山は電車での素通りしかしてなかったので、思わぬ所で初上陸になった。

あまり下調べをしないで旅に出る事が多いので、色々取りこぼしや、後からあそこにそんなのがあったのだって言う事が多い。今回もまた同じ事をしてしまったけど、また次に行く理由ができたという事にしておく。

旅＋文＋写＝珍

フェリー内の壁に拘束される自転車は1台だけ。大部港を出て岡山の日生港に向かう。

宿の女将さんに教えてもらった『ヤマロク醤油』の蔵。創業150年位との事。『鶴醤 つるびしお』と『菊醤 きくびしお』の2種類。『菊醤』の印象はキレが良すぎる感じがしたので、宿で出された濃い口の『鶴醤』を自分の分とお土産として数本購入。

建築物は地域色が出るのでいつも気にして見ているが、表通りから路地に入ると古い建物と屋根の付いた石塀をよく目にする。歴史のある醤油蔵が多いからこのエリアには多く残っているのだろう。

時間ができたので走ってきました。in 真夏の小豆島

2021年8月10日(Tue)～8月11日(Wed)

各方面からアクセスできる小豆島の東側にある福田港。町は小規模で食堂は数軒有り。海岸線沿いの移動が一般的ではあるが、登山ルートだと600m越え。要注意。

小豆島フェリー姫路営業所。姫路↔福田を1日7往復、所要時間は約100分で運行する。運賃は自転車込みで1990円(大人)。車を先に入れてから自転車の乗船になる。予約無しの先着順。

姫路市の小豆島フェリー埠頭から乗船し、小豆島の福田へはおよそ1時間半位かけて向かう。湿度が高いせいか船から陸地が霞んで見える。微かに見える陸地を見て、あそこはどこら辺だろうか、地図アプリを見ながら船が走っている場所を推測してみる。家島、西島を通りすぎ、さらに小さな島を過ぎると微かに島が見えてくる。やがて船内アナウンスが鳴り接岸の準備を伝える。埠頭に接岸する時はやけに興奮して馬鹿みたいにカメラを連写させていた。

小豆島の福田に着いて近くの食堂で食事をした後、いよいよ走り始める。体力があるうちに山に登る予定でいたので、使うルートの標高と斜度はアプリなどを使って調べていた。いつものツーリングより荷物は少ないので問題無い。暑いので飲み物を2本買って登山道へ突入。最初の方は斜度がキツめで、何箇所か九十九折りのあるこの登山道をひたすら登ってゆく。比較的軽いギアを装着しているので足を止めずに済むし、足が着いても復帰しやすい。

300m位登ったら斜度も少しずつ緩くなっていき、福田港を見下ろす絶景のスポットにたどり着いた。結構道がうねっているなぁ。この暑い中2本目はやだなぁ。などと思いながら再び坂を登り続けると、やがて標高約600mの登山道のピークを迎え長めの休憩を取る。後は下るだけ、惰性で進むだけである。

下りに入ってしばらく進むと、何組かのツーリニストとすれ違う。道の途中で休んでいる人もいた。どちらから登った方が大変だったのだろうか。次に来た時は反対のルートを選んでみようかなと思う。ただ惰性で進んでいるから気持ちに余裕が出てきているようだ。やがて視界が開けて海を一望できるようになる。澄んだ空気の日なら四国まで見えていたのだろうと思うと少し残念ではあった。今日の目指す宿があるエリアはこの目で確認した。後は風を切ってこの坂を下るだけである。

醤油蔵独特の匂いを周辺に醸し出す『マルキン醤油』の物産館でお土産チェック。

醤の郷にある趣のある木造りの宿『お料理乃宿 千鳥』に宿泊。料理は島で獲れた魚や、名産のオリーブの天麩羅などが出された。有名野球選手が親族にいるらしくサインなどが飾ってあった。気さくな女将さんに宿で使っている醤油を教えてもらう。

産地に送られ、その品質の高さから安来の港は大変にぎわったそうだ。しかし、優れた品質である一方で、大量の砂鉄と木炭を使用するため生産効率が悪く、江戸時代以降に衰退した。現在は日本美術刀剣保存協会が奥出雲でたたら製鉄（日刀保たたら）を行い、全国の刀匠に提供することで伝統を守っているのだ。

館内は砂鉄の採取方法や、たたら製鉄の炉の構造などが模型で分かりやすく説明され、たたら製鉄で作られた玉鋼の展示もある。希望者は日本刀を持つ体験も可能だ。刃は付いていないが、1kgほどの日本刀は非常に重く感じ、自然と背筋が伸びる。試合前に精神統一を行うために日本刀を手にするアスリートもいるそうだ。

博物館入口では、たたら製鉄で使われていた足踏み式の天秤ふいごで風を送る体験もできる。

ミュージアムショップはどじょうをモチーフにしたペーパーナイフや肥後守ナイフ、包丁などのヤスキハガネ製品が購入できる。今回は閉店時間の15時を回っていたので見られず、残念な思いをした。昨日の足立美術館もそうだが、1時間ほどの滞在では全く時間が足りない。改めて安来に足を運びたくなってしまった。

15時20分ごろ安来駅に戻り、サイクリングツアーが終了した。30㎞程度の距離だが、安来の景色や文化に触れられるコースで、初心者からベテランまで十分楽しめるだろう。

若干時間に余裕があったので安来観光交流プラザのお土産コーナーで買い物をする。一口サイズに小分けされた「清水羊羹」や、口当たりが良いため女性にもおすすめという吉田酒造の「月山」純米吟醸、広瀬銘菓「玉川せんべい」などを購入。安来市内宿泊者向けのキャンペーン期間中で、宿泊費の補助と対象店舗で使える2000円分のクーポン券が利用できた。

和鋼博物館はたたら製鉄について拝聴。日本で唯一の総合博物館である。

希望者は日本刀を持つことができる。

お土産は天野紺屋で染めたストールや日本酒など。

行きは寝台列車の旅を楽しんだが、帰りは飛行機を使う。安来駅から米子鬼太郎空港までは在来線で約50分、自動車では約30分程度だ。17時に空港に到着しチェックイン。米子発17時35分～羽田着19時、1時間半ほどのフライトである。安来を夕方まで楽しんでも、都内まで当日中に帰ることができるのだ。

2日間で安来を旅したが、高低差がほとんどなく、車通りも比較的少ない。しかも、関東からのアクセスも良く、訪れて初めてわかる魅力にあふれているため、サイクリング初心者から旅好きまで、是非訪れて欲しい。ただし、足立美術館や和鋼博物館はじっくり見始めると時間がいくらあっても足りないため、時間にかなり余裕を持ったスケジュールを組むことをお勧めしたい。

安来駅併設の観光交流プラザでは、レンタサイクルや荷物預かりサービスも行っている。ホテルにチェックインする前の市内観光に活躍しそうだ。電車待ちの時間を有効活用できるし、マンホールカードも配布しているため、是非立ち寄ってほしい。今回のように知る人ぞ知る穴場スポットを教えてもらえるはずだ。

▲足踏み式のふいごで風を送る。
▼米子鬼太郎空港で記念撮影。

DISCOVER YASUGI
安来ふらりチャリ
rin project
YOU TUBE
Channel
安来市観光協会
〒692-0011 島根県安来市安来町2093-3
観光交流プラザ内（JR安来駅隣）
TEL:0854-23-7667　FAX:0854-23-7654
E-mail:mail@yasugi-kankou.jp
https://yasugi-kankou.com/

どじょうすくい出迎え隊が日曜の安来駅でお出迎え。

みささ海浜公園から十神山から安来港を眺める。

安来駅を出て中海沿いを西に向かう。車通りも少なく10名程度でも走りやすい。10分ほど走って「みささ海浜公園」に到着。十神山から安来港までを眺めながら、地名の由来を教えて頂くと、スサノオノミコトが安来に来たときに「我がみこころはやすけくなりぬ」と言ったことが由来とのこと。そのため「やすき」と発音するほうが正しいのではという説もあるが、住民としては、濁らないと落ち着かないそうだ。

堤防沿いを進み、農園が広がるエリアに入ると、立派なサボテンが並ぶビニールハウスを発見。持ち主の方がいらっしゃったのでお話を伺うと、いちご農家さんだという。趣味で育てている「金鯱」というサボテンは、70年以上のものもあるそうだ。

中海沿いに広がる荒島地区の田園を通り抜けていると小雨が降ってきた。コンビニで休憩を兼ねて雨宿りをしていると雨はやんだが、参加者の方が、山陰の天気は変わりやすいと教えてくれた。

山陰本線の踏切を超えるとすぐに「古代出雲王陵の丘 造山公園」に到着。全国最大の方墳があり1号墳からは銅鏡などが出土したそうだ。自転車を降りて高台に上ると、前方後方墳の上から島根半島や中海が一望できる。

島根半島は国引き神話において、出雲の国を作った神が少ない国土を増やすために現在の韓国と東北の一部を切り、山に縄をかけて引っ張ってきて繋げてできたという。壮大なスケールの話だ。

再び田園を通り抜け、ゆっくり40分ほど走り「和鋼博物館」に到着。2階のレストラン「安来グランパ」でランチを頂く。スキレットに乗ったチーズ乗せハンバーグがジューシーでボリュームも満点だ。

昼食後に和鋼博物館内を案内していただいた。現在も行われているたたら製鉄の映像を見て、イメージを膨らませてから展示室に入る。

奥出雲のたたら製鉄は、江戸時代まで非常に盛んであった。作られた鉄は日本各地の金物の

記念背撮影をしてモニターツアーに出発！

▲展望のよい古代出雲王陵の丘。

立派なサボテンが並ぶビニールハウスを見学。

▼ 見晴らしの良い荒島地区の田園を通り抜ける。

フに作庭された「白砂青松庭」。なだらかな白砂の丘陵に大小の松が絶妙に配置されている。

足立美術館と安来駅をつなぐ無料のシャトルバスが1日17往復運行しているので、自転車以外の旅でも十分楽しめるだろう。（入館料2300円）

足立美術館から徒歩1分のところには、薬用高いラジウム泉の温泉旅館「さぎの湯荘」もある。広瀬町で藍染体験を行い、足立美術館をたっぷり楽しむには絶好の宿泊場所だ。

客室の扉には天野紺屋さんの藍染生地が使用されている。日帰り入浴（700円）が可能なので露天風呂に入る。紅葉がライトアップされていて、いい気分だ。

体を温めてから安来駅に戻る。宿泊は安来駅から徒歩数分でアクセスできる「ホテルひさご家」を利用した。夕食は安来駅前の「山陰海鮮炉端かば」安来本店に向かう。新型コロナの流行が心配な時期ではあるが、個室を予約したので安心して食事ができる。

せっかく山陰に行ったのだから蟹を食べたいと思い、予約時に相談したところ、カニ鍋と焼き蟹を用意して頂けた！

更に山陰の魚を堪能すべく、刺身の盛り合わせ「かば桶盛り」を注文。大きな椀の上に船などがダイナミックに盛り付けられており、見た目も味も存分に楽しめる。

せっかくなので地酒をと、日中に訪れた広瀬町の「吉田酒造」が作る日本酒「月山」を注文する。口当たり良くまろやかでうまい。

地元ならではのメニュー「赤天」も外せない。衣が付いた赤いカマボコのようで後からピリッとした辛さが楽しめる。マヨネーズをつけて食べると辛さがマイルドになり酒のアテにもってこいである。

飽きるほど蟹を食べ地元グルメに舌鼓を打つことができた。

「山陰海鮮炉端かば」は島根だけでなく関東、山陰、関西・山陽にも出店している。山陰の味が恋しくなったら近くの店舗に行きたいなと思った。

足立美術館から徒歩1分の場所にあるさぎの湯荘。

紅葉を眺めながらの露天風呂は良い気分だ。

年間60万人以上が訪れる足立美術館。

横山大観の名画がモチーフの「白砂青松庭」

ダイナミックな盛り付けの「かば桶盛り」

12月5日（日）

朝9時、安来駅の観光交流プラザ「アラエッサ♪YASUGI」を訪れた。自転車で安来を楽しむ、サイクリングモニターツアーに参加するためだ。駅のホームでは「どじょうすくい出迎え隊」の皆さんが、踊りの衣装とひょうきんな動きで下車する方々を出迎え、記念撮影にも応じていた。毎週日曜日に行っている活動だそうなので、日曜着で予定を組めば、到着した瞬間から気分が盛り上がること間違いなしだ。

「安来ぶらりチャリ」モニターツアーの参加者は11名で、安来駅のレンタサイクルを利用することも可能である。駅のロータリーで「どじょうすくい出迎え隊」の皆さんや駅長と一緒に記念撮影をして出発する。

広瀬町は２００年ほど前から西日本で三本の指に入る絣「広瀬絣」の産地として栄えた地だ。紺屋（こうや）、つまり染物屋は7件ほどあったが、現在一件だけ残っているという、１８７０年創業の「天野紺屋」にお邪魔した。

藍染と言えば天然藍の色成分を化学的に合成したインディゴ染料の使用が一般的だが、こちらでは植物の蓼（たで）から取れる天然藍を使用した伝統的な藍染を行っており、予約をすれば藍染体験をさせて頂けるのだ。

到着すると5代目の天野尚さんに糸染めの現場で藍染について説明して頂いた。藍染の液は蓼を発酵させた菜（すくも）から作られる。もともと茶色の液が空気に触れると青く変わり、生地に色素が定着する。一度では淡くしか染まらないため、濃くする場合は何度も繰り返す。

藍染は液に生息している微生物の働きがあってこそ染まるのだという言葉が印象的だった。

織機が並ぶ工房も見学できた。もともとは糸染め専業だったが、生産量が減った今だからこそ、天野紺屋でも広瀬絣を織っているそうだ。

布染めの工房に移動し、藍染め体験を開始する。まず、染めるためのTシャツやストールを選ぶ。私は通年使えそうな通気性の良い、織り目が粗く開いた麻のストールを選んでみた。テーブルの上に広がった見本を見ながら、希望の柄の出し方を教えて頂く。色を付けたいところはそのままで、白く残すところに輪ゴムを巻き付ける。

いよいよ染色だ。最初に染める生地をお湯の中で揉む。続いて茶色の染め液の中に生地を入れ、繊維の中に液がまんべんなく染み込むように60秒ほどやさしく手で揉む。

生地を引き上げて広げ、軽く叩くようにしながら空気に触れさせると、茶色から青へと色が変わっていく。どの程度の濃さに染めたいか相談しながら、染め液に漬け空気に晒す工程を繰り返す。お湯ですすいで脱水し、広げて乾かすと鮮やかな藍色に染まったストールが完成した。

所要時間2時間ほどで自分だけの藍染製品を持ち帰ることができる。（要予約体験料、材料込みTシャツ４０００円、ストール５０００円）

藍染体験を楽しみ、次は年間60万人以上が訪れる「足立美術館」に向かう。

足立美術館は安来市出身の実業家・足立全康が収集した横山大観をはじめとする、近代から現代の日本画や北大路魯山人の陶芸、童画、木彫、漆芸などを鑑賞できる。５万坪の日本庭園はアメリカの日本庭園専門誌による日本庭園ランキングで18年連続1位に輝くほどだ。

特に目を引いたのが、本館を通り抜けた先に現れる、横山大観の名画「白沙青松」をモチー

「天野紺屋」
〒692-0404
島根県安来市広瀬町広瀬968
0854-32-3384
営業時間：10:00 ～ 18:00
（定休日：不定休）
https://www.amanokouya.com/

天然の蓼（右）を発酵させて菜（左）を作る。

広瀬絣は直線的な模様が特徴である。

白く残す部分をビニールとゴムで縛る。

藍染液の中でストールを60秒揉んで引き上げる。

9時20分、7分遅れでサンライズ出雲が安来駅に到着。東京から11時間30分の贅沢な寝台列車の旅を堪能した。

朝食は安来駅前の喫茶店「茶々」でモーニングを食べる。トースト、サラダ、卵、味噌汁とコーヒーのセットが550円だ。

この旅では安来市観光協会の門脇さんが同行してくださる。3人で自転車に乗って安来駅周辺の散策に出発した。

駅の前はすぐ港だ。中海方面に向かい、海岸沿いを走ると15分ほどで「十神山なぎさ公園」に到着。予約すれば無料でキャンプができる、地元でも知る人ぞ知るスポットだ。

さらに海岸沿いを進むとお城のような不思議な建物を発見。元議員で古物商を営んだ方のご自宅だそうだ。その近所に木曜～土曜のみ開いているという無人販売のガレージ「十神山なぎさ直売所」がある。農産物や穀物だけでなく、お土産に良さそうな手芸品などのアイテムが並ぶ。島根のイチゴ「あきひめ」（700円）と紫檀のスプーン（300円）を手にとり、料金箱にお金を投入した。

海沿いから安来駅方向に戻る。駅の西側には、江戸時代から鉄を日本各地に運ぶための港町として賑わっていたという歴史を感じる町並みが広がっていた。

安来駅には観光交流プラザ「アラエッサ YASUGI」も隣接。出発前に是非立ち寄りたい。

駅を出て海岸沿いを進むと、十神山なぎさ公園に到着。

7時頃。朝日を迎え周囲が明るくなってきた。

岡山駅でサンライズ瀬戸・出雲が切り離される。

走っていると、どじょうすくいがデザインされたマンホールの蓋を発見。マンホールは地域色が出やすいので、走りながら探す楽しみがある。

自転車旅ではおやつも楽しみだ。駅前の商店街にある「くまのプーさん」の大判焼き（100円）が想像を超えていた。きつね色の大判焼きを想像していたが、生地が白く、つきたての餅のような柔らかさと弾力があり、あんこはあっさり。腹持ちがよさそうな満足感に浸れる。昼食前なのに、ついつい二つ目に手が伸びそうな味だ。クリームやチョコ味もあるし、焼きそば（400円）もある。食べ盛りの学生さんも500円で満足できそうだ。

昼食は民芸そば「志ばらく」にお邪魔する。なまこ壁の建物は大正時代からだそうで、店内には各地の民芸品が並び、心地よい懐かしさを感じる。蕎麦と言えば「ざる」、「もり」、「かけ」だと思っていたが、釜揚げ蕎麦（700円）には驚いた。茹で上がった蕎麦がたっぷりの蕎麦湯の中に浮かんでいる。甘じょっぱいつゆをかけて食べると、蕎麦湯をまとった柔らかい口当たりの蕎麦につゆがからむ。ほっこりと体を温めてくれる12月にぴったりの味だ。かき揚げ（650円）と、割り子蕎麦（250円×3）も頂き、冬の島根ならではの昼食となった。

▲安来はイチゴの産地。「あきひめ」を購入した。

冬は釜揚げ蕎麦でほっこりしたくなる。▼

▲安来のマンホールはどじょうすくい！

「くまのプーさん」の大判焼き▼

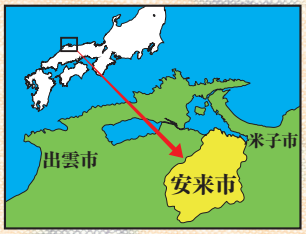
安来 やすぎ 自転車ぶらり旅

2021年12月3日（金）～5日（日）

地元の人も知らない魅力を自転車で再発見！

どじょうすくいの安来節で有名な島根県安来市は、古くからたたら製鉄によって作られた鉄鋼の積出港として栄え、現在は日立金属が生産するヤスキハガネが全世界に輸出される鉄鋼業が盛んな土地である。

東京駅→岡山→島根県安来市（ぶらりチャリツアー開始）
広瀬町→王陵ノ丘→和鋼博物館→駅→米子空港→羽田空港



文・トモ
写真・ロッキー／トモ

12月3日（金）

ありがたいことに、観光協会さんとの打ち合わせや、サイクリングのモニターツアーに参加するため、島根県安来市を訪れる機会を頂いた。

折角の山陰なので、東京駅から旅人の憧れ、寝台特急サンライズ出雲を使うことにした。車内販売が無いため、事前に買出しを済ませ東京駅9番ホームに到着。21時25分頃、ホームの左側から14両編成の寝台特急が入線。1～7号車がサンライズ瀬戸、8～14号車がサンライズ出雲で、翌朝に岡山駅で切り離しを行うのだ。

寝台車に乗り込むと通路は大人一人が通れる程度。自転車を持っているとすれ違いができないので、譲り合いながら寝台個室に向かう。

予約した個室はB寝台「シングル」。2階建て寝台車の1階だ。個室内は解放感のある大きな窓、枕と浴衣と毛布が置かれた幅70㎝ほどのベッドがある。扉の脇にはノートPCを置いて作業ができそうなテーブル（コンセント付き）、ベッドの脇には手荷物が置ける幅20㎝ほどの板張りと、壁の上にはハンガーが一つ。ベッドと入口の扉の間には幅30㎝ほどの靴を置くスペースがあり、立って着替えることも可能。しかも、今回輪行したブロンプトンをジャストフィットで納めることもできる。個室の入り口は4ケタの暗証番号でロックできるため、外に出るときも安心である。カプセルホテルよりも快適だ。

サンライズ出雲のB寝台「シングル」個室。開放的な大きな窓が旅気分を盛り上げてくれる。

ブロンプトンが入口にジャストフィット。

21時50分に東京駅からサンライズ出雲が発車。東京を出て時間が経つにつれ景色も静かになっていく。車窓の風景を眺めながら晩酌を楽しむのが鉄道旅の醍醐味だ。初めて乗った憧れの寝台特急の夜は、新幹線とは一味違う。

静岡を過ぎ、車窓の闇の中に思い出したように踏切の明かりが通り過ぎる。明日に備えて眠りについた。

12月4日（土）

朝6時半頃、岡山駅でサンライズ瀬戸と出雲が切り離された。岡山を出てしばらくすると、太平洋沿いを進んでいた列車が伯備線に入り、車窓の景色が海岸から山あいに変わる。7時頃に日の出を迎え、空が明るくなってきた。

●トラックレース・オムニアム男子
切ない気持ちを記事にしなければならなかった

8月5日、トラックレースのオムニアム男子が伊豆ベロドロームで行われた。この競技に出場した日本選手は、僕が手伝いをしていたレーシングチームの選手、橋本英也選手だ。

彼はこれまでもワールドカップで表彰台に立ち、悪くない成績を積んできた。それを僕はチーム広報としてすぐ近くから見つめてきた。友だちとして、飯も何度かおごってもらった。その特別な想いも込めて、メダルもワンチャンあると信じていた。

レース当日、会場となった自転車室内競技場である『伊豆ベロドローム』は、オリンピック開催のために観客席を大幅に増やしていた。ただ残念なことに観客席はほとんど埋まっていなかった。現場にきた人々にはとても見やすい環境だったが、これが東京2020の実情か、とも思った。

オムニアムは4種目の総合ポイントを競う競技だ。レースの幕開けとなった第1種目は、これまで世界選手権でも見たことないような速いスピードで展開した。

橋本選手はレースの流れの意表をついて、奇襲をかけるような走りが得意だ。しかしこの圧倒的な走力の流れの中には、スキはほとんど見当たらない。力と力の真っ向からのぶつかり合いの中、第1種目はそれでも8位。悪くはない成績だった。

しかし2種目から、橋本選手の走りは遅れ始めた。いつもの走りのような軽快さはみられない。巻き返しを図れる雰囲気ではなかった。第3種目、最終種目と、大声を出すことがまかり通らなかったので、橋本選手に聞こえるよう観客席からずっと拍手をしていた。レースが終わりに近づくにつれ、手が痛くなり、心も痛みを増していった。

僕は橋本選手のレースレポートを自転車ウェブ媒体に書く予定だった。いつものようなプレスパスではなく、今回は観客チケットでレースを見た僕は、プレスエリアに入れなかったのでその日には話を聞けず、次の日の早朝に電話で話をした。

レースレポートを書くのを長く仕事にしてきたので、残念な結果だった選手に話を聞くのは珍しくない。ただ今回は本当に辛かった。帰ってくる答えはわかっていた。それでも聞かなきゃいけなかった。橋本選手が一言目に発したのは、「オリンピックがこんなに悔しいものだとは思わなかった」。

僕は彼の言った通りに記事に書いた。楽しい記事には書けなかった。あんなに書きたかったのに、こんなに苦しい思いで書くと思わなかった。それでも書いた。未来に向けた記録として書いた。

幸運なことに、見たかったオリンピック自転車競技をすべて生で見られた。だが振り返ると、なんだか切なかったな、という印象が強かった。自分だけのことではあるんだけれど、ちょっと入れ込みすぎたかもしれなかった。次のパリオリンピックは、本当の意味で観客として見るんだ。心からそう思った。

中村浩一郎
コピーライター、翻訳家。元リンプロジェクト広報。自転車レースレポートを書きまくり食いつないできた。今はBMXダートジャンパー。

●ＭＴＢクロスカントリー男子
――もうこのままレースが始まらなければいいのに

7月26日、マウンテンバイク（ＭＴＢ）男子クロスカントリー競技を観た。僕の自転車ライターとしてのこれまでの25年間は、先に述べたとおりこの日のためにあった。

会場の『伊豆ＭＴＢコース』は暑く晴れた。このコースは日本サイクルスポーツセンター（ＣＳＣ）内にある。2年前にあったオリンピックテスト大会や事前の大会あおり記事などにも何度も書いたが、このコースは見たことないほどの難コースだ。

これまでもオリンピックのＭＴＢ競技は、そのコース設定でマウンテンバイクというスポーツのあり方を毎回変えてきた。そもそも現在のＭＴＢクロスカントリーとは、正式名称をＸＣＯ＝クロスカントリー・オリンピックといい、つまり存在そのものがオリンピック競技のためにある。だからＭＴＢのクロカンでは、オリンピックは名実ともに世界最高の選手を決める大会なのだ。

今回もＣＳＣ内というコンパクトな空間内に、激上りに荒々しい下り、岩場やジャンプなど、あらゆるテクニックが必要なコースが作られた。ここに、何を言おうとこのレースを生で見たくてしかたのない、マウンテンバイクを愛する同志が集まった。

僕はものすごく感動していた。会場に入ったのは、レーススタートの3時間前ほど。本スタートまでずいぶん時間が空いていたが、この時間こそが愛おしかった。

周りにいるのは、観客として、ボランティアや役員として、いろんな形でこのレースに向けやれることをやり尽くして準備して今ここにいる人たちばかりだ。コンパクトな会場で自由に歩けるから、その気になれば会場にいる人すべてに会える。古い友達、最近知り合った同志、ＭＴＢを介して何かの繋がりがある人たちばかり。知らない人ですら友達に思えた。

言葉を交わし、同じ気持ちを確認し、ゆっくりと、ゆっくりと歩いた。スタートの15時は近づいてくる。スタートすれば、金メダルが決まるまでは1時間ちょっとだ。始まったら、この時間は終わってしまう。もうこのままレースが始まらなければいいのに。その時の僕は、心からそう思っていた。

しかし15時が来てしまい、レースはスタートした。最優勝候補の一翼であったオランダのマシュー・ファン・デル・プール選手が、コースの下見を蔑ろにして1周目で転倒し、レースを降りた。その後すぐイギリスのトーマス・ピドコック選手が完全にレースを支配した。１７０㎝と決して大きくない体格だがその軽さとテクニックを活かし、コースを言葉通りに飛ぶようにふわりふわりと走り、トップを独走した。

1時間25分でピドコック選手はゆうゆうと金メダルを決めた。この世界一過酷なコースで、圧倒的な走りだった。彼はロードレース、シクロクロス、マウンテンバイク、体力を使う自転車競技でのトップトップクラス、新世代のマルチライダーだ。コースだけでなく、ライダーという意味でも、新たな時代の到来を目の当たりにできた。

●自転車ロードレース男子
――ヘリコプターが飛んできてオリンピックを感じた

7月24日、男子ロードレース競技を観た。東京都・武蔵野の森公園をスタートして、静岡県・小山町の『富士スピードウェイ』まで走る、総距離２３４㎞で獲得標高４８６５ｍの厳しいコース。東京都下をちょっとパレードし、道志みちを走って東京を抜け出し山中湖湖畔、そこから富士山麓へ。合計３つの峠を超える、いわゆる山岳コースである。

ロードレースはなにせ公道を走る。がんばる人を沿道で応援したいという熱い気持ちを止める事なんて、何人たりともできやしない。そこで僕も出かけていく。敬意を評してロードバイクで向かうのだ。

地元道を走り抜け、『富士山ぐるり一周街道』を通ってコース沿道に向かう。途中にいくつかのバリケードがあって、クルマは止められていたが、自転車なのでコース沿道へと難なく到着。ほぼ生放送のライブ中継をスマホで見ていると、逃げる５名の選手がそろそろここにやってくる。到着時刻はジャストなタイミングだ。

あとどれくらいかなー、とか思っていると、バラバラバラバラバラと空から音が聞こえてきた。見上げるとオリンピックのカラーリングのヘリだった。まずヘリが来るなんてさすがオリンピック、気持ちがアガる。

先頭の５人逃げがやってきた。ただこれから言葉通りの山場である峠を前に、少し疲弊しているように見える。さーっとコーナーを曲がって見られたのは一瞬。さあプロトン（メイン集団）とはどれぐらいの差がある？

しかしプロトンはなかなか来ない。一休みというより中休み気分になってきた13分後にようやくプロトンがやって来た。残り全員だからかなり大きな集団だ。プロトンの後方に新城幸也選手と増田成幸選手が見える。いつもは敵チームの２人なのだが、今日はつい応援の声が出る。アラシロ、マスピー、ついていけ！

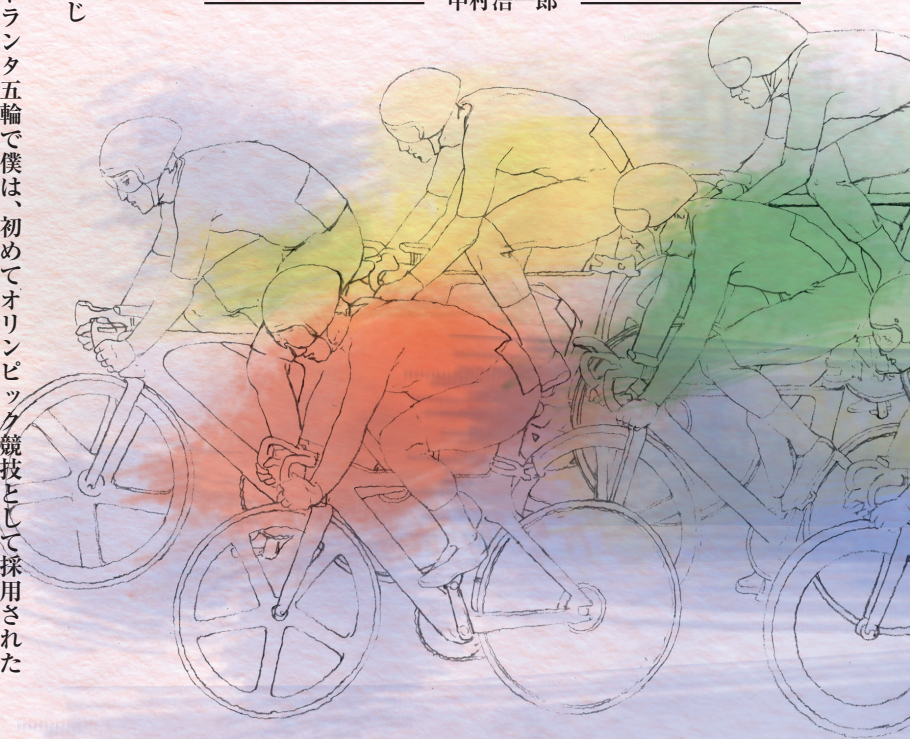
コースも残り半分を過ぎてあと１００㎞ぐらい、13分も離れて大丈夫なのか？　と思うが、集団前方の選手たちの顔は晴れやかでにこやかだ。一言で言うと余裕である。ああ、あの５人は絶対捕まるな、そう感じた。コーナーをひとつ曲がるだけの時間、実質30秒ぐらいだったが、それでも底知れぬパワー。これが世界ロードレースなのか。それともこれこそがオリンピックなのか？

逃げていた５名はやっぱり残り50㎞でプロトンに捕まり、最後に控えた峠の上りで最終アタックがかかり集団は延び延びに。最後10名ぐらいのグループから抜け出したエクアドルのリチャル・カラパス選手が富士スピードウェイへ独走。そのまま金メダルを勝ち取った。

見たかった競技は全部生で見られたのだけれど

2021年の東京2020オリンピックを振り返って

中村浩一郎



●それまでのあらすじ

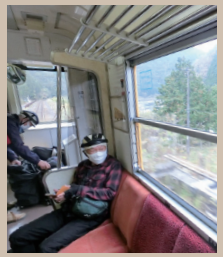
１９９６年のアトランタ五輪で僕は、初めてオリンピック競技として採用されたマウンテンバイク競技を生で見た。それに興奮して自転車ライターとして身を立てるのを決意し、以来細々とやってきた。それも20年ほど過ぎた頃に、東京でオリンピックが開催されると発表された。

その時の僕は自転車レーシングチームの発信担当をしていたのだが、そのチームがオリンピック出場を目指し、自転車競技の多くが開催される静岡県に拠点を移転することになった。僕も仕事だからとチームに着いていくテイで静岡県に移住。しかし本当は１９９６年マウンテンバイク競技の続きを地元で見たかっただけだった。

●静岡県では五輪を生で見られてラッキー！

オリンピックが東京に来るって聞いていたのに、結局静岡県での開催だっていうから僕も静岡に移住しちゃったよ、とずいぶんネタにしてきた。

だが2年ちょい待って２０２０年7月が来ても、この年に本大会は行われなかった。２０２１年になっても、7月になっても、本当に開催されるのか、そして観客は入れるのかとヤキモキしていたが、それこそ2週間ぐらい前になって「どうやら静岡県は観客入れて開催するみたいだよ」となった。静岡に引っ越してよかった、と思った3つのひとつだ。あとの2つは冬でもあったかくて毎日自転車乗れることと、富士山からの水道水が美味いこと。



ブロンプトンで四国旅をしよう

久しぶりに四国に行きたい。気の知れた仲間に旅の話をしたら四人から反応があった。以前旅した南四国が個人的に評価が高く、特に食べ物の質が良い印象がある。できるだけ広範囲を訪れたいのと、全員がやや年齢が高いため電車移動が多めの旅を計画する。あそこのエリアは山がキツイから輪行しよう。あそこで出される魚介類は安くて美味い。独特の趣のある場所も多い。当時の辛かったことや楽しかったことを思い出して、それらを仲間たちに共感してもらえるだろうと考えると、早くその日が来ることを願っている。もちろんまだ走ったことの無い場所も計画に入れる。その時は四人で同じ感動を得ることになるだろう。

マンホールグラフィックス

■ 四国編 弐 ■　愛媛⇒ 高知 ⇒ 徳島 ⇒香川

マンホールの鉄蓋（てつがい）のデザインから見る地域における経済性、文化性、歴史の推移等の研究

2018年に旅した四国を訪れる。電車移動を多くしたので、前回とは違うルートを使う機会を得た。新たに出会うことができたマンホール達は、高知以外は着色がほぼ無く、造形で勝負してる。一つだけ毛色の違う物に出会った。ポケふた？。どうやらポケモンの企画物ですべて違うデザインのマンホールが全国で展開しているようだ。思わぬ場所で出会ってしまって、レアキャラゲットだぜ！って喜ぶ歳ではないので冷静に検証してみた。が、マンホールに『©』マークは似合わないという結論に至った。

Renaissance de cyclo tourismo

ALL STREET JOURNAL

Vol.12 2022
Spring-Winter

www.rinproject.com

マンホールグラフィックス P1

ブロンプトンで四国旅をしよう P2

見たかった競技は
全部生で見られたのだけれど P3〜P6

安来自転車ぶらり旅 P7〜P12

時間ができたので走ってきました。
in 真夏の小豆島 P13〜P14

御荷鉾スーパー林道
グラベルライド P15〜P20

自転車クロスワードパズル P21〜P22